

Guard Station 3.0

取扱説明書

弊社の製品をお選びいただきありがとうございます。ご質問・ご要望については、ご遠慮なく販売店までご連絡ください。

免責事項



注意！

デフォルトパスワードは、最初のログイン用です。セキュリティのため、最初のログイン後に強力なパスワードを設定してください。強力なパスワードとは、数字、英字、記号の3種類をすべて含む、少なくとも9文字のパスワードです。パスワードを安全に保ち、定期的に変更してください。

- 本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。
- 本書の内容の完全性と正確性を検証するため最善の努力を払っていますが、本書の記述、情報、または推奨事項は、明示または黙示を問わず、正式な保証を構成するものではありません。本書の誤りや誤植について、当社は一切責任を負いません。
- 本書の図は参照専用です。
- 物理環境などの不確定要素により、実際の値と本書の参考値が違ふことがあります。

凡例

凡例	説明
太文字	コマンド、キーワード、パラメータ、GUI 要素（ウィンドウ、タブ、ダイアログボックス、メニュー、ボタンなど）。
イタリックフォント	使用者が値を指定する変数。
>	一連のメニュー項目を分割します。例：デバイス管理 > 追加。

目次

1 はじめに	1
2 システム要件	1
3 インストールと起動	2
4 デバイス管理	4
エンコードデバイス	4
エンコードデバイスの追加	4
エンコードデバイスの設定	6
グループ管理	7
デコードデバイス	8
クラウドデバイス	8
ネットワークキーボード	10
アクセスコントロールデバイス	12
5 ライブビュー	13
ライブビュー	13
ライブビデオの再生	13
ビューによるライブビデオの再生	15
ライブビューコントロール	17
ライブビューツールバー	17
ライブビューウィンドウツールバー	17
ライブビューショートカットメニュー	18
PTZ コントロール	19
PTZ コントロールパネル	20
プリセット	21
プリセットパトロール	21
録画パトロール	22
魚眼コントロール	23
トラッキングモード	24
シーケンスディスプレイ	24
シーケンスリソース	24
シーケンスビュー	26
6 録画と再生	29
録画スケジュールの設定	29
毎日 24 時間録画スケジュールの設定	29
録画スケジュールのカスタマイズ	30
ビデオの手動録画	31
再生	31

デバイス録画の再生	31
ローカル録画と画像の再生	32
再生コントロール	32
スマート検索	35
録画のダウンロード	36
録画のダウンロード	36
ダウンロードタスクの管理	36
7 ビデオウォール	38
ビデオウォールを追加	38
ビデオウォールの操作	39
ビデオウォールでビデオを再生する	39
音声出力	41
シーケンスリソースの再生	41
その他のビデオウォールの操作	44
画面コントロール	46
シリアルポートとプロトコルの設定	46
設定した時間に自動的に画面をオンまたはオフにする	47
手動で画面をオンまたはオフにする	47
一定時間後に画面をオフにする	47
8 行動検索	48
9 顔認識	49
リアルタイム監視	49
顔ライブラリの管理	50
顔ライブラリの作成	50
顔データを追加	50
監視タスク	52
10 人数カウント	53
リアルタイム統計	53
レポート統計	54
11 アクセスコントロール	55
顔ライブラリの管理	55
リアルタイム監視	57
アクセス記録	59
12 E マップ	59
マップの設定	60
マップの操作	61
マップ上でホットスポットやホットゾーンを見つける	61
ホットスポットでライブビデオを表示する	61
アラームの処理	62
ホットゾーンの表示	63

13	音声	63
	音声	63
	双方向音声	64
	カメラとの双方向音声	64
	NVR との双方向音声	64
	ブロードキャスト	65
14	アラームの設定	67
	アラーム起動型アクションの設定	67
	アラーム録画の表示	68
	直近のアラーム	68
	履歴アラーム	71
15	操作ログ	73
16	クライアントの設定	73
17	ユーザ管理	77
18	付録	78
	MyDDNS でエンコーディングデバイスの追加	78
	予備モニターの回復	78
	マルチウィンドウディスプレイ	79

1 はじめに

Guard Station 3.0 は、アクセスコントロール等のデバイスと LAN 環境のみで利用できるビデオ管理ソフトウェアです。ライブビュー、再生、デバイス管理、録画スケジュール、アラーム設定、ビデオウォール、人数カウント、E マップなどのビデオ監視サービスを提供します。本ソフトウェアは、導入と操作が容易であり、スーパーマーケット、駐車場、住宅地などの中小規模のアプリケーションに適しています。詳細については、データシートをご覧ください。



ヒント！

- 本ソフトウェアには異なるバージョンがあり、互換性のあるオペレーティングシステムにインストールする必要があります。詳細については、データシートをご覧ください。
- 機能は、ソフトウェアバージョン、デバイスとバージョン、およびソフトウェアによるデバイスの管理方法（カメラとの直接接続、または NVR 接続カメラなど）を含むがこれらに限定されない要因によって異なる場合があります。
- 本書は、特定のソフトウェアバージョン用ではありません。本書に記載されている一部の機能は、特定のバージョンでのみ使用できます。
- 直接接続カメラ：ソフトウェアによって直接管理されるカメラ（NVR 接続カメラと異なる）。
- NVR 接続カメラ：NVR を経由でソフトウェアによって管理されるカメラ（直接接続されたカメラと異なる）。
- IPC：IPC、IP カメラ、およびカメラは、本書では同じものを指します。
- PC：ソフトウェアを実行するコンピュータ。本書ではクライアントとしても言及されています。

2 システム要件

ソフトウェアをホストする PC は、パフォーマンス要件を満たす必要があります。要件は、ソフトウェアの使用方法によって異なる場合があります。たとえば、複数のウィンドウで高解像度のライブビューを使用するには、より高いシステムパフォーマンスが必要です。

ソフトウェアバージョン	システム要件
64 ビット	OS: Microsoft Windows 7/8/10 (64 ビット) CPU: Intel Core i5 3.1GHz 以上 メモリ: 4GB 以上
32 ビット	OS: Microsoft Windows 7/8/10 (32 ビットまたは 64 ビット) CPU: Intel Pentium IV 3.0GHZ 以上 (4 コア、3.0GHz を

ソフトウェアバージョン	システム要件
	推奨) メモリ : 2GB 以上 注意 : 64 ビット Windows は、32 ビットソフトウェアをホストできます。



ヒント！

64 ビットの OS とソフトウェアを推奨します。ライブビューと再生は RAM を消費しますが、32 ビットソフトウェアには比較的小容量の RAM しか備わっていません。RAM が不足すると、ソフトウェアはライブまたは録画したビデオのチャンネルを再生できなくなり、RAM が不十分であることを示すメッセージが表示されます。

3 インストールと起動

1. .exe ファイルをダブルクリックし、ウィザードに従ってインストールを完了してください。
2. インストールが完了したら、ショートカットアイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。
3. デフォルトのユーザー名 (admin) /パスワードでログインします。






注意！

- デフォルトパスワードは販売店にご確認ください。
- デフォルトパスワードは、最初のログインのみを対象としています。セキュリティのため、最初のログイン後に強力なパスワードを設定してください ([ユーザ管理](#) をご覧ください)。強力なパスワードとは、数字、英字、記号の 3 種類をすべて含む、少なくとも 9 文字のパスワードです。パスワードを安全に保ち、定期的に変更してください。
- Admin のパスワードは、ソフトウェアのアップグレードまたは再インストール後も変更されません。

ログインすると、メインページが表示されます。メインページには、コントロールパネル、いくつかの機能ボタン、およびシステムメニューが含まれています。

- 左上隅の **メニュー** をクリックしてシステムメニューを開きます。
- コントロールパネルには一般及び **基本機能** 領域があります。アイコンをクリックすると、対応するモジュールにアクセスします。アイコンをドラッグすると、別のアイコンと位置を変更できます。
- 右上隅のボタンは、アカウントの切り替え、GUI のロック、またはユーザマニュアルを開くために使用されます。
- 左下隅に 3 つのボタンがあります。

アイコン	説明
	リアルタイムアラームの表示、アラーム音のオン/オフ、アラームトリガーのライブビデオの有効化/無効化。
	ダウンロードタスクの管理
	録画のダウンロード

4 デバイス管理

デバイスにはエンコーディングデバイス、デコーディングデバイス、クラウドデバイス、ネットワークキーボードおよびアクセス・コントロールデバイスが含まれます。本ソフトウェアは、最大 64 のローカルデバイスと 64 のクラウドデバイス、最大 512 のローカルチャンネルと 512 のクラウドチャンネルをサポートします。

エンコードデバイス

エンコードデバイスの追加

エンコードデバイスには、IPC（本書では IP カメラ、カメラ、またはビデオチャンネルとも呼ばれます）、ネットワークビデオレコーダー（NVR）、ハイブリッド NVR が含まれます。




注意！

- 異なる管理ソフトウェアプログラムでデバイスを管理すると、予期しない問題が発生する場合があります。
- 常に管理者としてデバイスを追加してください（ユーザー名「admin」を入力してください）。





コントロールパネルの**デバイス管理**をクリックして次の手順を実行してください。

1. **デバイス > エンコーディングデバイス**をクリックします。このページは、2 つのリストを持つ 2 つの領域に分かれています。
 - **オンラインデバイスリスト**：ソフトウェアはオンラインデバイスを検索し、自動的に更新します。注意：検出されたデバイスはまだ追加されていないため、手動で追加する必要があります（手順 2 をご覧ください）。
 - **デバイス管理リスト**：ソフトウェアに追加されているデバイスをリストします。


デバイス管理 (3)							
+ 追加 編集 削除 時刻同期 状態 <small>キーワードを入力して検索します</small>							
✓	名称	IP アドレス	状態	型番	デバイス設定	バージョン情報	動作
■	206.2.7.4	206.2.7.4	オンライン				✎ ⚙ ⚙ ↺
■	DC	206.10.251.196	オフライン (ユーザー名またはパスワードが違います...)				✎ ⚙ ⚙ ↺
■	DC	206.10.3.139	オフライン (ユーザー名またはパスワードが違います...)				✎ ⚙ ⚙ ↺
オンラインデバイス (4)							
+ 追加 更新 検索設定 <small>キーワードを入力して検索します</small>							
✓	IP アドレス	型番	デバイス設定	シリアル番号	バージョン情報	追加	
■	206.10.3.132	NVR			B1	いいえ	
■	206.10.3.90	NVR			B3	いいえ	
■	206.10.251.133	NVR			B3	いいえ	
■	206.10.251.132	NVR			B3	いいえ	
■	206.10.252.134	IPC			IPC	いいえ	

2. オンラインデバイスリストからデバイスを選択して **追加** をクリックします。デバイスは異なる複数のグループに追加できます。
 - ソフトウェアはデフォルトのユーザー名（admin）を使用してデバイスを追加します。デバイスのデフォルトパスワードが変更されている場合、手順 3 でパスワードを変更する必要があります。
 - オンラインデバイスリストでは、以下の操作が可能です：
 - **更新** をクリックするとリストを更新します。
 - **検索設定** をクリックすると検索するネットワークセグメントを指定できます。
 -  をクリックするとリストされたすべてのデバイスを選択/選択解除します。
 - デバイスを右クリックすると、Web インターフェイスにアクセスできます。
3. デバイス管理リストで、追加されたデバイスの状態を確認し、以下を実行してください：

操作	方法
デバイスの追加	1) 追加 をクリックします。 2) モードを選択します。選択したモードに関係なく、デバイスのユーザー名（admin）とパスワードは常に必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ● IP/ドメイン：既知の IP アドレスを持つデバイスを追加します。 ● IP セグメント：連続した IP アドレスを持つ複数のデバイスを追加します。 ● MyDDNS：デバイスで DDNS を有効にし、事前にポートマッピングを完了しておく必要があります。詳しくは 付録 をご覧ください。 3) 追加 をクリックしてデフォルトグループに追加、または グループに追加する をクリックして、指定されたグループに追加します。
デバイスの編集	デバイスを選択して 編集 をクリックします。このボタンは、複数のデバイスを追加する際に同じユーザー名とパスワードを設定する場合に特に便利です。
デバイスの削除	デバイスを選択して 削除 をクリックします。削除されたオンラインデバイスはまだ オンラインデバイスリスト に残ります。
時刻同期	時刻同期 をクリックし、PC のシステム時間を選択したデバイスに同期します。
デバイスの状態を表示	状態 をクリックし、デバイスのオンライン/オフライン状態、録画状態、ディスク状態を表示します。 手動で更新することも、自動的に更新する間隔を設定することもできます。

操作	方法
動作カラムのボタンを使用してください。	<ul style="list-style-type: none">  : デバイス名、IP アドレス、ユーザー名/パスワードを編集します。デバイスの状態がオフライン（不正なユーザー名またはパスワード）の場合、このボタンをクリックして、パスワードを実際のパスワードに変更してください。ダブルクリックしてデバイスを編集することもできます。  : デバイスの画像、エンコード、OSD の設定を行います（エンコードデバイスの設定 をご覧ください）。  : デバイスの Web インターフェイスにアクセスします。  : デバイスを再起動します。

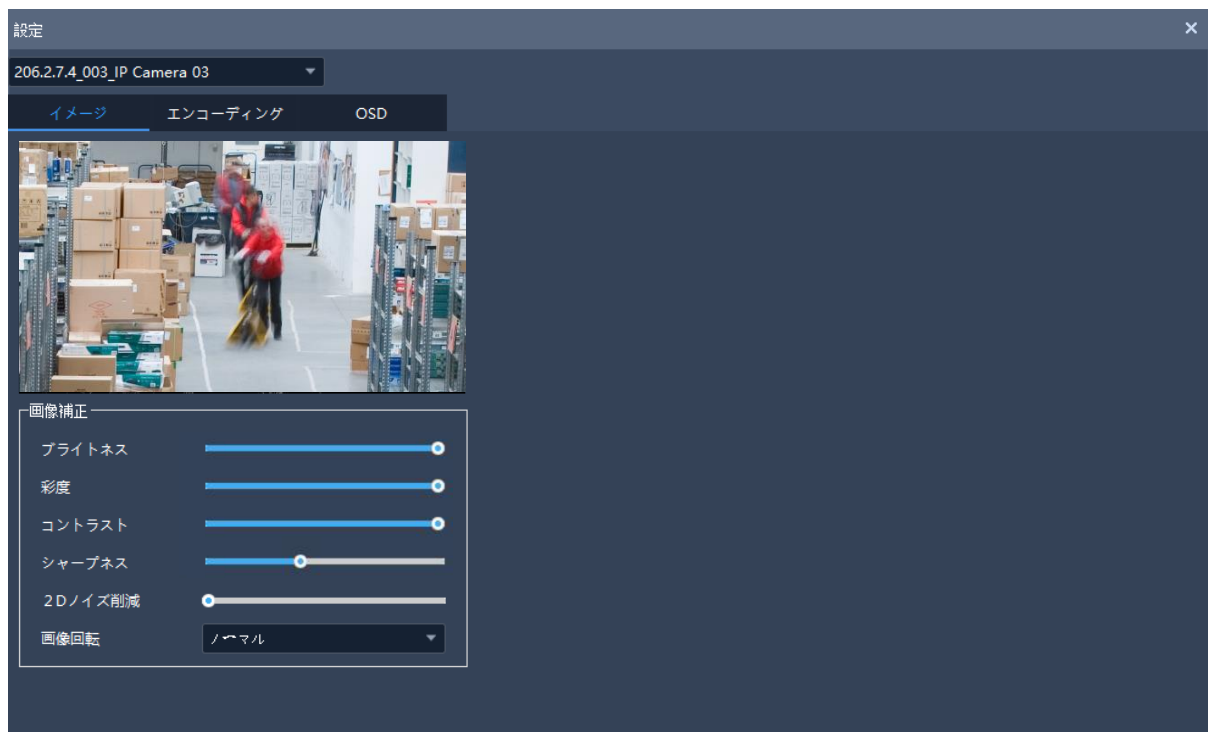
エンコードデバイスの設定

オンラインデバイスの場合、デバイス管理リスト上で、 をクリックし、デバイスの Web インターフェイスを開かずに画像、エンコード、および OSD の設定を行うことができます。



注意！

- この機能はデバイスがサポートしている必要があり、デバイスのバージョンが低すぎる場合は使用できない場合があります。
- 表示される設定は、デバイスのバージョンとデバイスの管理方法によって異なる場合があります。
- 画像、エンコード、OSD パラメータの詳細な説明については、デバイスの取扱説明書をご覧ください。
- OSD 設定は Mac OS システムでは使用できません。



注意：

- 変更された画像と OSD 設定はすぐに有効になります。エンコード設定を有効にするには、まずエンコード設定保存する必要があります。
- NVR の場合、ドロップダウンリストからカメラを選択する必要があります。
- OSD を設定する際、画像をダブルクリックすると全画面で表示できます。青いボックス（領域 1、2…）はプレビューにのみ表示され、ライブビュー画像には表示されません。OSD をドラッグして再配置できます。

グループ管理

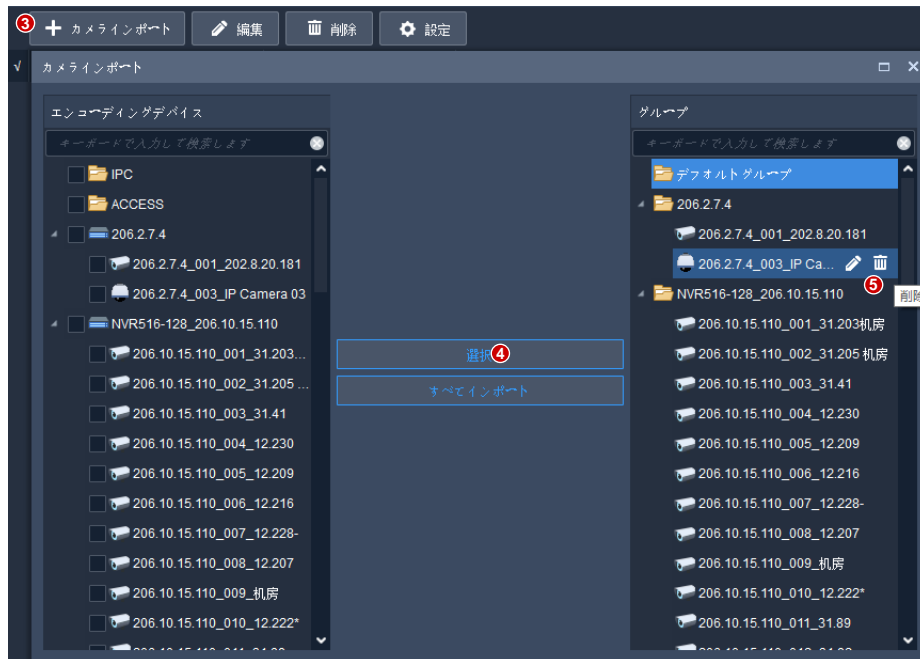
ソフトウェアがインストールされると、デフォルトグループが自動的に作成されます。グループを作成すると、異なるグループのカメラを管理できます。

NVR を追加すると、NVR と同じ名前のグループが作成されます。

1. グループを追加します。



2. グループにカメラをインポートします。



- カメラのインポート手順：右側のグループをクリックし、左側のカメラを選択して、**選択**をクリックします。すべてのカメラをインポートするには、**すべてインポート**をクリックします。
- グループからカメラを削除するには、カメラにマウスポインタを合わせて**削除**をクリックします。
- グループ内のカメラの名前を変更するには、カメラにマウスポインタを合わせて**編集**をクリックします。

デコードデバイス

ビデオウォール機能を使用する前に、デコードデバイスを追加する必要があります。手順は、エンコードデバイスを追加する場合と同様です。[エンコードデバイスの追加](#) をご覧ください。

注意：管理者としてデコードデバイスを追加します。

クラウドデバイス

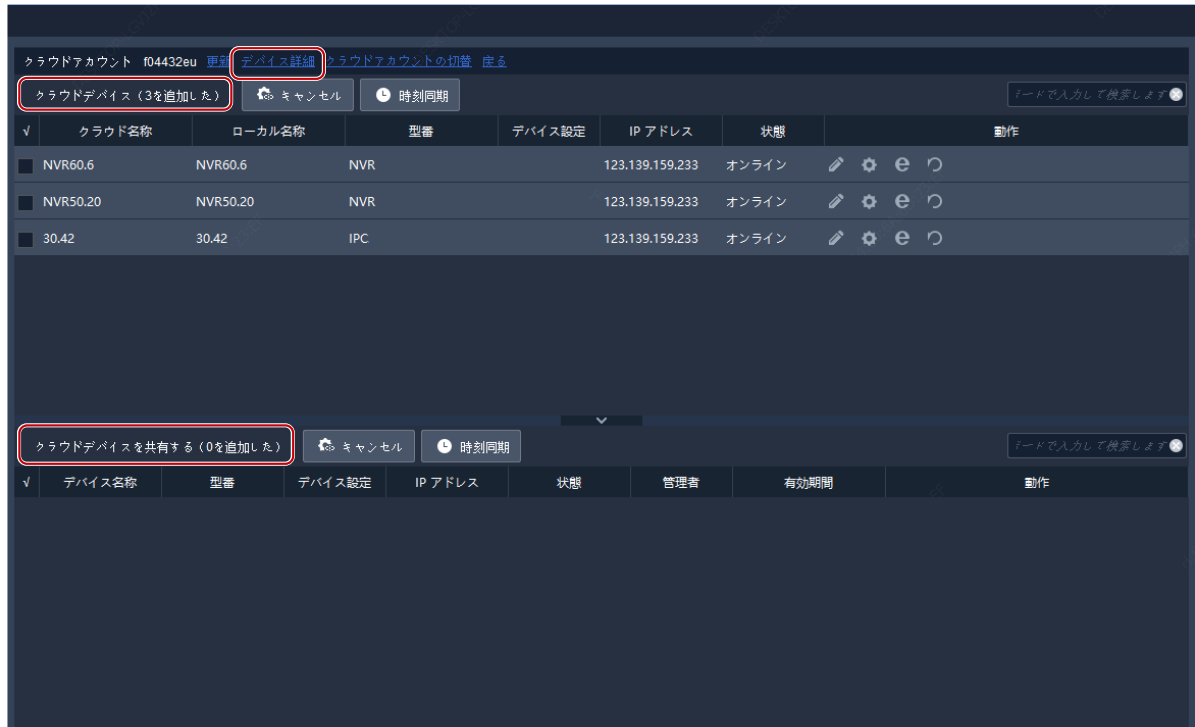
注意：

このソフトウェアは、最大 64 台のクラウドデバイスを同時に管理できます。これには、クラウドデバイスや他のクラウドアカウントから共有されるデバイスも含まれます。管理するデバイスの総数が制限を超えている場合は、**デバイス詳細**をクリックし、**追加管理**または **Cancel** をクリックしてクラウドデバイスを調整してください。

コントロールパネルの**デバイス管理**をクリックして次の手順を実行してください。

1. **デバイス** > **クラウドデバイス**をクリックします。

2. 既にクラウドアカウントをお持ちの場合は、手順 3 に進みます。お持ちでない場合は、**登録**をクリックしてサインアップしてください。
3. クラウドアカウントのユーザー名とパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。クラウドデバイス（クラウドデバイスの下）および他のクラウドアカウントから共有されているデバイス（クラウドデバイスを共有するの下）を含むクラウドアカウントのデバイスがリストされます。



ヒント：

- **動作**の下ボタンを使用して、デバイス名の編集、画像、エンコードおよび OSD の設定、デバイスの Web インターフェイスの起動、デバイスの再起動を行うことができます。
- **キャンセル**をクリックすると、クラウドアカウントからデバイスを削除せずにデバイスの管理をキャンセルすることができます。
- **時刻同期**をクリックすると、デバイスを PC のシステム時間と同期させます。
- **デバイス詳細**をクリックすると、クラウドデバイスの追加、編集、削除、共有または共有のキャンセル、管理または管理のキャンセルを行うことができます。

デバイス詳細

クラウドデバイス (15)

追加管理

キャンセル

追加

編集

削除

共有

共有リスト

状態

すべて

追加	クラウド名称	ローカル名称	型番	IP アドレス	状態
はい	NVR60.6	NVR60.6	NVR	123.139.159.233	オンライン
はい	NVR50.20	NVR50.20	NVR	123.139.159.233	オンライン
はい	30.42	30.42	IPC	123.139.159.233	オンライン
いいえ	IPC	IPC	IPC	123.139.159.233	オンライン
いいえ	IPC	IPC	IPC	123.139.159.233	オンライン
いいえ	球机	球机	IPC	123.139.159.233	オンライン
いいえ	N410.10.50.9	N410.10.50.9	NVR	123.139.159.233	オンライン

クラウドデバイスを共有する (0)

追加管理

キャンセル

編集

共有をキャンセルする

状態

すべて

追加	デバイス名称	型番	IP アドレス	管理者	有効期間	状態
----	--------	----	---------	-----	------	----

ヒント：

- **追加**をクリックしてクラウドアカウントにデバイスを追加します（デバイスの Web インターフェイスに表示される登録コードが必要です。詳細についてはデバイスのユーザマニュアルをご覧ください）；**削除**をクリックするとクラウドアカウントからデバイスを削除します。
- **追加管理**をクリックするとソフトウェアにデバイスを追加できます。**キャンセル**をクリックするとクラウドアカウントからデバイスを削除せずに管理をキャンセルできます。
- デバイスをダブルクリックするか**編集**をクリックするとデバイスの名前を変更できます。新しい名前をクラウドに同期するには、**クラウドに同期する**を選択してください。
- **共有**をクリックすると、デバイスを別のクラウドアカウントと共有できます。必要に応じて共有期間と権限を設定します。権限はデバイスで事前に設定されています。
- **共有リスト**をクリックすると、共有履歴を表示したり、他のクラウドアカウントとの共有をキャンセルできます。
- **共有をキャンセルする**をクリックすると、他のクラウドアカウントからの共有をキャンセルできます。

ネットワークキーボード

ネットワークキーボードを使用すると、ビデオウォールのライブビデオ、再生、PTZ カメラ、シーケンスリソースを制御できます。

次の手順では、ビデオウォールでライブビデオを再生する方法について説明します。開始する前に、キーボードのユーザマニュアルを参照して、キーボードを PC に接続してください。その上で、コントロールパネルの**デバイス管理**をクリックして次の手順を実行してください。

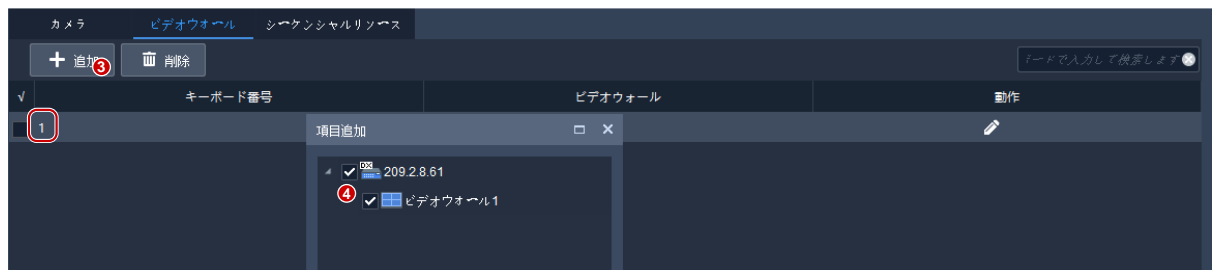
1. カメラを追加します。カメラタブ上で、追加をクリックし、ビデオウォールで再生するカメラを選択して OK クリックします。リストにカメラが表示されます。

ヒント：後でキーボードを操作するときに番号（4 など）を使用します。



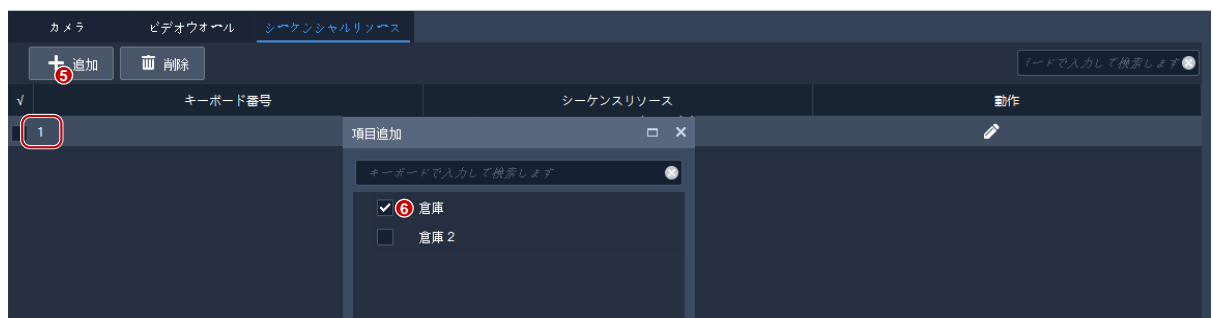
2. ビデオウォールを追加します。DX ビデオウォールタブ上で、追加をクリックし、ビデオウォールを選択して OK をクリックします。最初にビデオウォールを構成する必要があります。詳しくは [ビデオウォール](#) をご覧ください。

ヒント：キーボードを操作するときに番号（1 など）を使用します。



3. シーケンスリソースを追加します。シーケンシャルリソースタブ上で、追加をクリックし、シーケンスリソースを選択して OK をクリックします。まずシーケンスリソースを構成する必要があります。詳しくは [シーケンスリソース](#) をご覧ください。

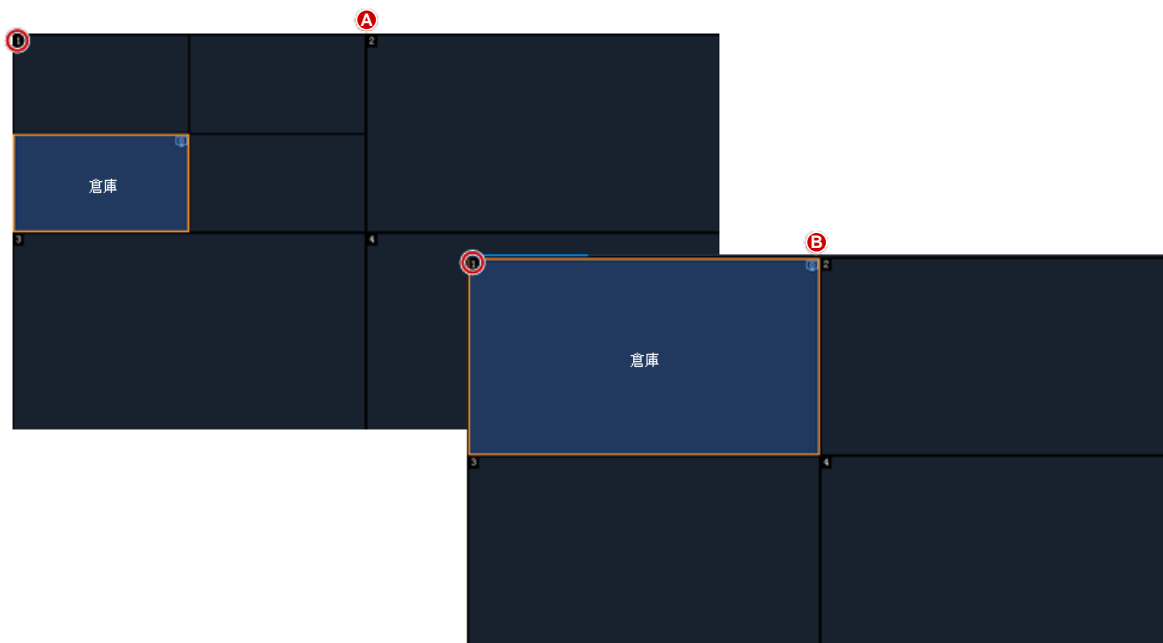
ヒント：キーボードを操作するときに番号（1 など）を使用します。




4. 次の操作は、ネットワークキーボード上で行います。
 - a. 手順2のキーボード番号を入力し（例：1）、AUX4 を押します。
 - b. 左上隅のウィンドウ番号を入力し（AとBの両方で1です）、MON を押します。
 - c. 分割画面番号を入力してから、WIN を押します。ウィンドウが分割されている場合（A の場合）、分割画面番号 3 を入力します。ウィンドウが分割されていない場合（B の場合）、1 を入力します。この手順は、ビデオウォールでライブビデオを再生す

る場合にのみ必要です。シーケンスリソースを再生する場合は、この手順をスキップしてください。

- d. ビデオウォールで再生するカメラまたはシーケンスリソースを選択します。
- ライブビデオ：手順 1 のキーボード番号を入力し（例：4）、**CAM** を押します。
 - シーケンスリソース：手順 3 のキーボード番号を入力し（例：1）、**CAM_G** を押します。



5. ビデオウォールでライブビデオが開始された後は、以下の操作が可能です。
- ジョイスティックを使用して PTZ カメラの回転を制御し、ズームボタンとフォーカスボタンを使用してズームとフォーカスを制御します。
 -  ボタンを使用するとライブビデオを録画に切り替えることができます。

詳細については、キーボードのユーザマニュアルをご覧ください。

アクセスコントロールデバイス

アクセスコントロールデバイスの追加については[エンコードデバイスの追加](#) を参照してください。管理者としてデバイスを追加します。

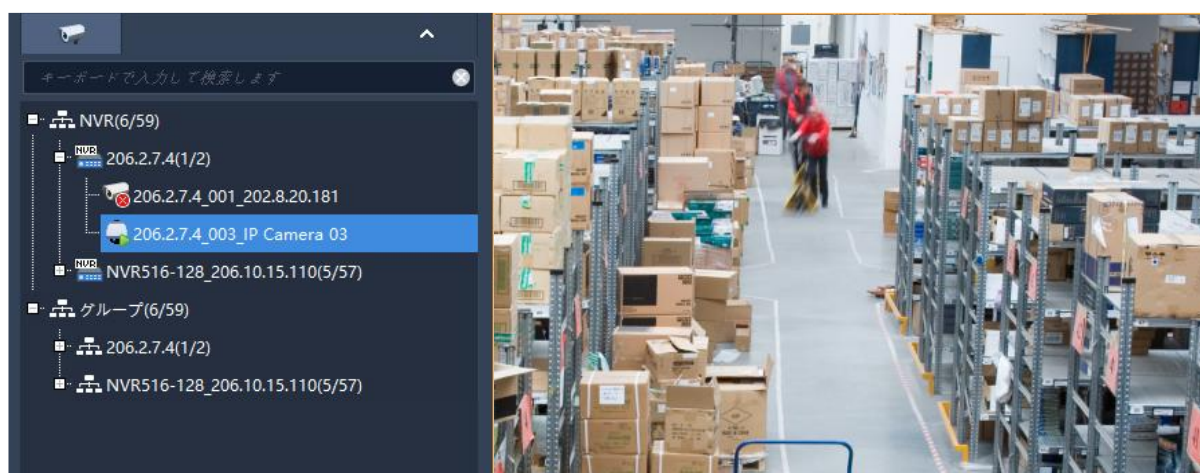
5 ライブビュー

ライブビュー

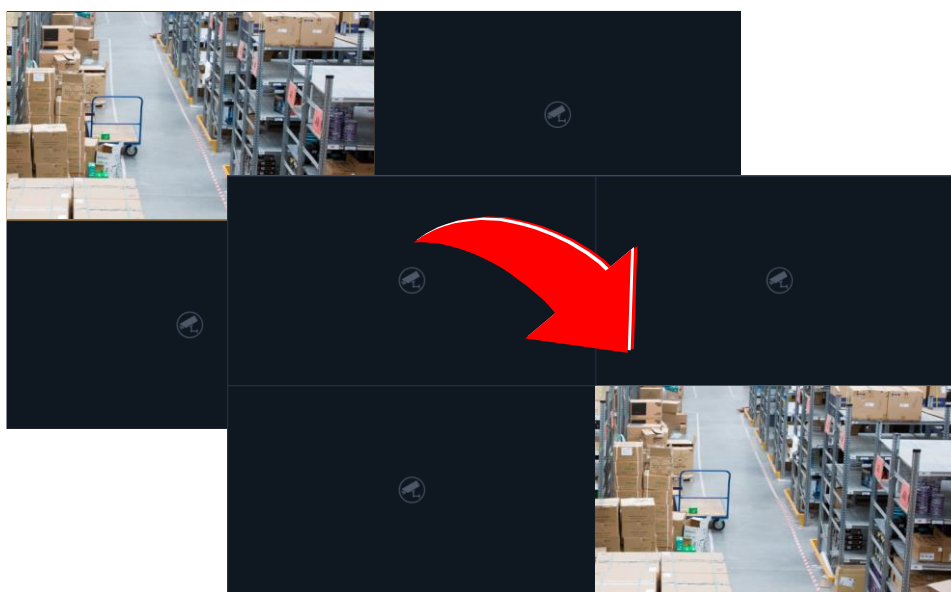
コントロールパネル上のライブビューをクリックして、カメラからのライブビデオを表示します。

ライブビデオの再生

1. カメラタブでカメラをダブルクリックするか、ウィンドウにドラッグしてライブビデオを開始します。



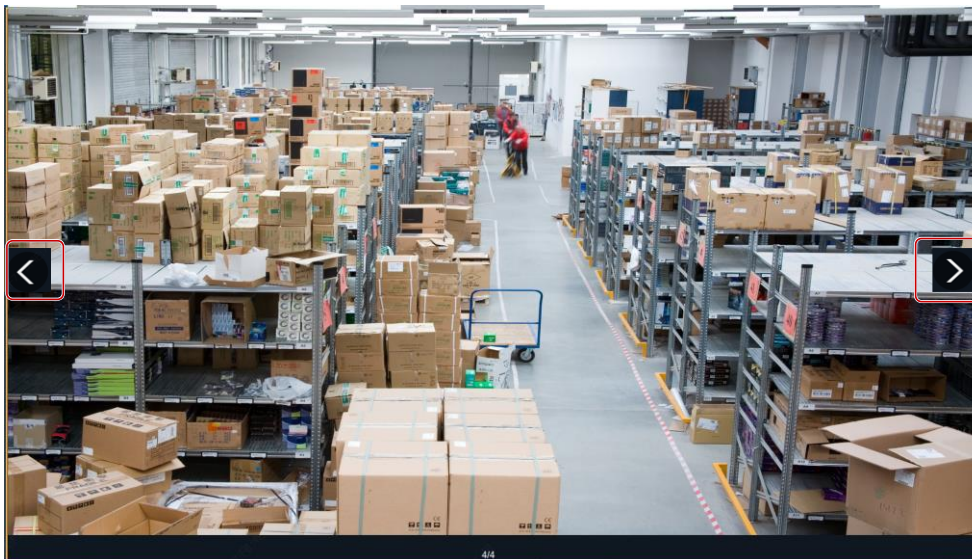
2. カメラを右クリックすると、ストリーム種別の選択またはカメラ名の変更ができます。
3. 画像をドラッグし、別のウィンドウで再生することができます。



4. ウィンドウをダブルクリックすると最大化し、もう一度ダブルクリックすると復元されます。



ウィンドウを最大化した後、マウスをライブビューページの左または右側に移動し、**<** または **>** をクリックすると、前または次のチャンネルのライブビデオに切り替わります。



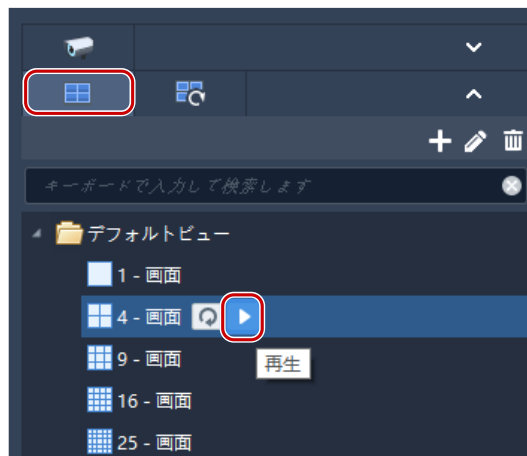
5. ライブビュー中は、ライブビューツールバーまたはウィンドウツールバーを使用できます。

ビューによるライブビデオの再生

デフォルトビュー

ビュータブ上で、デフォルトビューをダブルクリックするか、再生をクリックすると、カメラリスト上の対応する数のカメラからライブビデオを開始できます：4 分割ビュー用の 4 台のカメラ、9 分割ビュー用の 9 台、16 分割ビュー用の 16 台、25 分割ビュー用の 25 台。

ここでは4画面を例にとります。



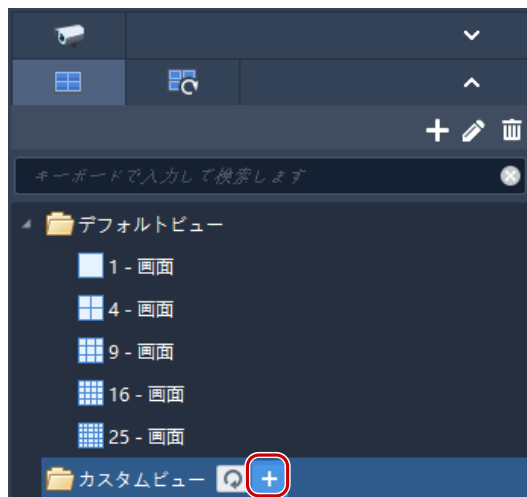
以下に示すように、カメラリストの最初の 4 台のカメラからのライブビデオが再生されます。


Cam 1	Cam 2
Cam 3	Cam 4

カスタムビュー

カスタムビューで指定されたカメラからライブビデオを再生します。

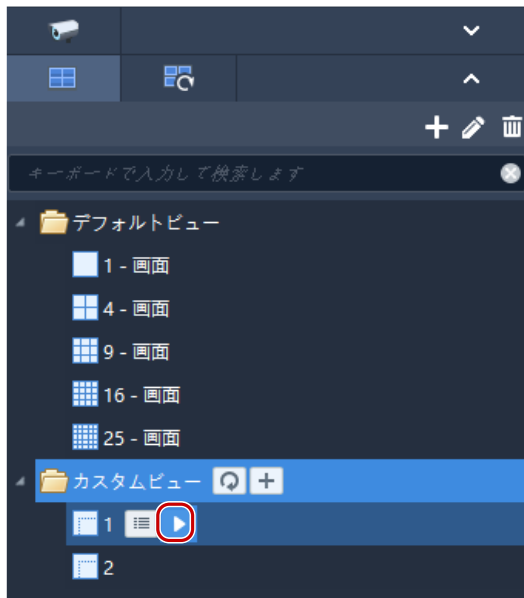
1. ビュータブ上で画面追加ボタンをクリックしてビューを作成します。



2. ウィンドウレイアウトを選択します。 をクリックしてカスタムレイアウトを編集します。編集時には**結合**または**取り消し**を利用できます。



3. カメラまたはシーケンスリソースを1つずつ目的のウィンドウにドラッグします。
4. OK をクリックします。
5. カスタムビューをダブルクリックするか、再生をクリックして、レイアウト（ステップ 2 で設定）の対応するウィンドウでカメラ（ステップ 3 で指定）からライブビデオを開始します。



ライブビューコントロール

ライブビューツールバー

ライブビューツールバーは、ライブビューウィンドウの下部にあります。



ボタン	説明
A	ウィンドウレイアウトを設定します。
B	現在のビューを直接保存するか、別のビューとして保存します。
C	ビデオ再生中のすべてのウィンドウを閉じます。
D	すべてのスナップショットを撮影します。
E	シーケンスディスプレイの一時停止/再開
F/G	前/次のグループを再生するか、シーケンスディスプレイで表示します。
H	全画面モードに切り替えます。ESC を押すと解除します。

ライブビューウィンドウツールバー




ライブビューウィンドウにマウスポインタを置くと、ウィンドウツールバーが表示されます。ツールバーは、現在のウィンドウに対してのみ有効です。



ボタン	説明
A	スナップショットを撮影します。スナップショット形式とストレージパスは、 クライアントの設定 で設定できます。
B	現在のウィンドウで再生しているライブビデオを PC に録画します。ビデオ形式とストレージパスは、 クライアントの設定 で設定できます。
C	デジタルズームです。有効にすると、マウスをドラッグして画像上に領域を指定してズームインをオンにし、スクロールホイールを使用してズームインまたはズームアウトできます。
D	スピーカー音量を調整し、PC用ではミュートすることもできます。
E	双方向音声です。
F	インスタント再生を開始します。現在のウィンドウで直近 5 分 30 秒間で再生されていたライブビデオを再生します。再生は最後に一時停止し、その後はライブビデオを手動で開始する必要があります。
G	現在のビデオのストリームタイプ、ビット・レートおよび解像度。



ヒント！

- カメラが PTZ カメラの場合、ツールバーに  が表示されます。このボタンをクリックすると、PTZ コントロールパネルが開きます。
- カメラが魚眼カメラの場合、ツールバーに  が表示されます。このボタンをクリックすると、魚眼レンズコントロールパネルが開きます。
- カメラが多重センサーカメラの場合、ツールバーには  が表示されます。トラッキングモードを有効化するにはこのボタンをクリックしてください。

ライブビューショートカットメニュー

ライブビューウィンドウを右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。メニュー上のいくつかの項目は、ライブビューツールバーおよびウィンドウツールバーと同じ機能を提供します。一部については以下の表で説明します。

パラメータ	説明
ストリームのタイプ	現在のウィンドウのストリーム種別を選択します：自動、メイン、サブ、およびサードストリーム（オプションはデバイスによって異なる場合があります）。 注意： <ul style="list-style-type: none"> サブストリームとサードストリームは、利用できない場合は表示されません。 ストリーム種別の選択は、シーケンスディスプレイでは許可されていません。
手動アラーム	手動でアラームをトリガーします。 注意： 最初にトリガーするアクションを設定しておくことをお勧めします（ アラーム起動型アクションの設定 参照）。このボタンをクリックすると、アラームが生成され、設定されたアクションがトリガーされます。
カメラ情報	ディスプレイフレームレート、解像度、ビットレート、ビデオ圧縮形式、およびパケットロス率を表示します。
ローカル録画の再生	PC でローカル録画を含むフォルダーを開き、現在のウィンドウで再生します。



ヒント！

デフォルトのストリーム種別は自動です。

- ローカルデバイスの場合、クライアントは画面レイアウトにしたがってストリーム種別を選択します。
 - 4 ウィンドウ以下：メインストリーム
 - 4～16 ウィンドウ（16 を含む）：サブストリーム
 - 16 を超えるウィンドウ：第 3 ストリーム
- クラウドデバイスの場合、デフォルトはサードストリームです。

PTZコントロール



PTZ カメラの回転方向と速度、パン/チルト/ズーム、フォーカスを制御します。このソフトウェアは、3D ポジショニング、プリセット、パトロール機能など、他の機能も提供します。

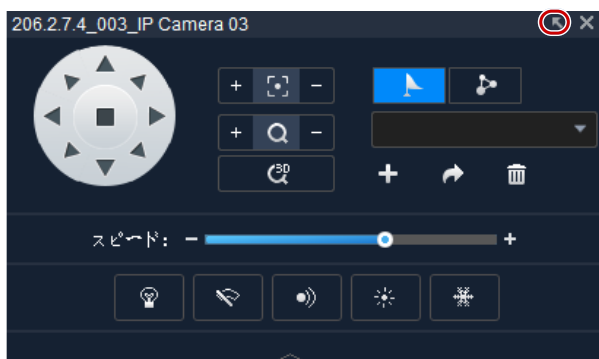




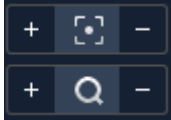

ヒント！





PTZ コントロールは PTZ カメラでのみ使用でき、カメラの機能とサポートするプロトコルによって異なる場合があります。たとえば、一部のメーカーは、ワイパーやメニューなどの特定用途のために特定のプリセットを予約しています。使用前にカメラの仕様をご覧ください。

PTZ コントロールパネル

ライブビューウィンドウツールバー上で  をクリックすると、PTZ コントロールパネルが開きます。このパネルは折りたたんだり展開したりできます。  をクリックすると、左にコントロールパネルを移動させることができます。



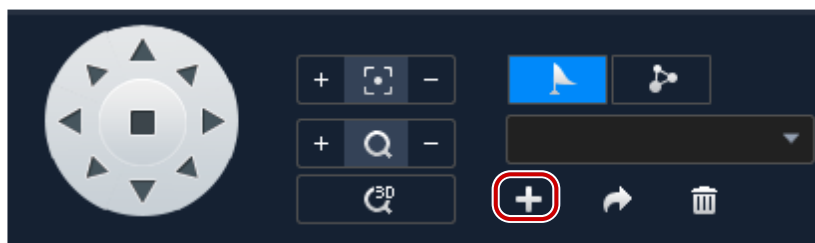
パラメータ	説明
	<p>回転方向を制御するか、回転を停止します。</p> <p>ヒント：</p> <ul style="list-style-type: none"> ショートカット PTZ コントロールを使用してカメラを回転させることもできます。ライブビューウィンドウにマウスポインタを置き、ポインタの形状が  のように変わったら、左ボタンをクリックして長押しすると、カメラが回転します。 クライアント構成 > 映像&音声から簡易 PTZ 制御を有効にするを有効化/無効化できます。 3D ポジショニングが有効な場合、ショートカット PTZ コントロールは無効です。
	<p>フォーカスとズームを調整します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ライトを制御します。 ワイパーを制御します。 IR を制御します。 ヒーターを制御します。 除雪機能を制御します。

パラメータ	説明
	回転速度を調整します。
	<p>タブをクリックすると、3D ポジショニングを有効化/無効化します。3D ポジショニングが有効になっている場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像の任意の場所をクリックすると、カメラが自動的にその方向に回転します。 • マウスを上から下にドラッグすると選択した領域にズームインします。下から上にドラッグするとズームアウトします。
	プリセットタブです。
	パトロールタブです。

プリセット

PTZ カメラの状態を保存するプリセットを追加できます。必要に応じて、ボタンを1回クリックするだけで、以前に設定した位置にカメラを回転できます。プリセットは、プリセットパトロールの設定にも使用されます（[プリセットパトロール](#) 参照）。

1. カメラを目的の方向に回転させます。

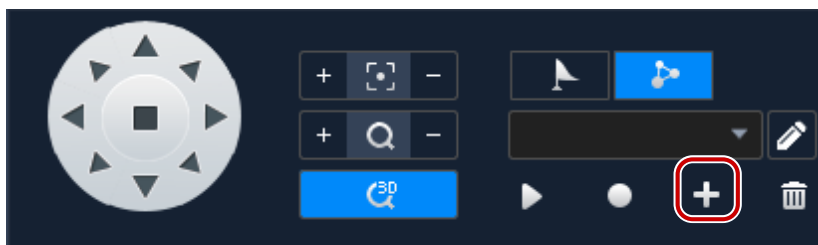


2. プリセットタブでプリセット追加をクリックします。使用されていないプリセット番号を入力してください。使用されている番号を入力すると、既存のプリセットは新しいプリセットに置き換えられます。

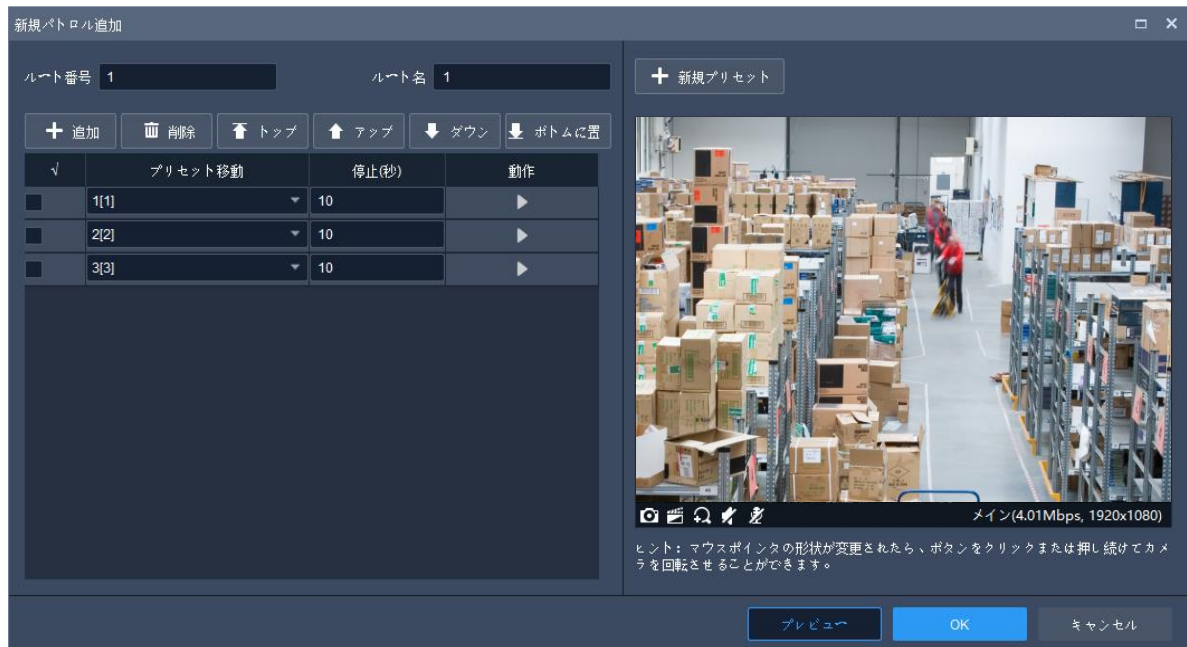
プリセットパトロール

カメラは、設定された順序で複数のプリセットに沿ってパトロールし、一定時間、各プリセットに留まります。プリセットパトロールルートはプリセットで構成されているため、最初に必要なすべてのプリセットを追加しておく必要があります（[プリセット](#)参照）。

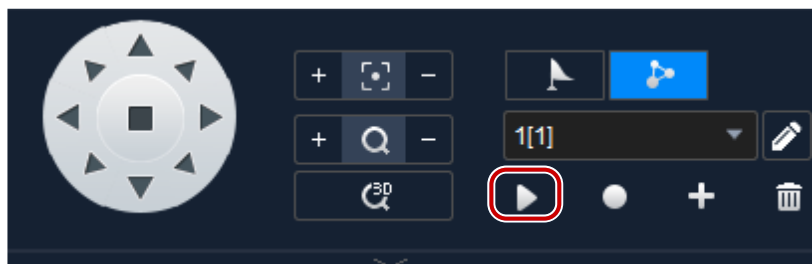
1. パトロールタブでパトロール設定をクリックします。



2. 設定を完了してください。



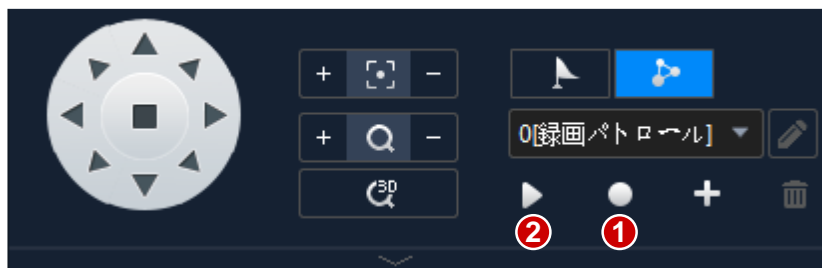
3. 追加をクリックし、プリセットを選択し、カメラがその位置に留まる時間の長さを設定します。必要なすべてのプリセットに対してこの手順を繰り返します。
4. トップ、アップ、ダウン、ボトムに置くボタンを使用して、カメラパトロール内での順序を調整できます。
5. 保存をクリックします。



6. パトロールルートがパトロールルートリストに表示されます。パトロール開始をクリックするとカメラは設定したプリセットに沿ってパトロールを開始します。

録画パトロール

ユーザーがカメラを操作している間、ソフトウェアがカメラの移動軌跡と状態を記録し、パトロールルートとして保存します。現在、録画パトロールルートが1つのみサポートされています。



1. **パトロールルート録画開始** をクリックしてください。
2. 方向ボタンまたはショートカット PTZ コントロールを使用して、カメラを目的の方向に回転し、必要な時間だけ静止させます。必要に応じてズームとフォーカスを調整してください。
3. **パトロールルート録画停止** をクリックします。録画パトロールルートがパトロールルートリストに表示されます（名前は 0 [録画パトロール] となります）。
4. **パトロール開始** をクリックしてください。カメラはパトロール中に実行したアクションを繰り返します。

魚眼コントロール

目的の画像を取得するために、魚眼をコントロールし、マウントモードとディスプレイモードを設定できます。

- マウント：天井、壁、デスクトップ
- ディスプレイモード：オリジナル画像、360° パノラマ+1PTZ、180° パノラマ、魚眼+3PTZ、魚眼+4PTZ、360° 魚眼+6PTZ、魚眼+8PTZ、パノラマ、パノラマ+3PTZ、パノラマ+4PTZ、パノラマ+8PTZ（オリジナル画像をクリックすると歪曲補正モードから通常モードに切り替わります）。




ヒント！

- 魚眼コントロールボタンは、魚眼カメラでのみ使用できます。
- 歪曲補正モードでは、PTZ ウィンドウをクリックしてからマウスを使用して画像をドラッグするか、スクロールホイールを使用してズームイン/ズームアウトできます。または、パノラマウィンドウをクリックしてから、境界領域をドラッグして、ズームインまたはズームアウトします。
- 歪曲補正モードではデジタルズームは無効になり、デジタルズームボタンは非表示になります。デジタルズームが有効になっているときに歪曲補正モードに切り替えると、デジタルズームは自動的に無効になり、画像は元のサイズに戻ります。
- 解像度が D1 未満の場合、歪曲補正モードは使用できません。魚眼レンズコントロールボタンはグレイアウトされます。
- 魚眼コントロールは Mac OS システムでは使用できません。

トラッキングモード

トラッキングモードで、多重センサー・カメラのメインストリームを再生すると、カメラはセットアラームルールをトリガーするオブジェクトを自動的に追跡します。

1. ライブ動画または再生ウィンドウ・ツールバーで  をクリックします。ウィンドウはパノラマ画像を表示する大きな1つのウィンドウと、PTZ 画像を表示する多数の小さなウィンドウへ分割されます。パノラマ画像のボックスが PTZ 画像と一致します。
2. 必要に応じて以下の操作を実行します：
 - 対応する PTZ 画像の範囲を変更するにはパノラマ画像のボックスをドラッグしてください。
 - ボックスあるいは PTZ 画像にマウスホイールをスクロールすると拡大または縮小されます。



ヒント！

- 自動トラッキング機能を使用するには、カメラの周辺保護機能を最初に有効化する必要があります。
- トラッキングモードを有効化するとデジタル・ズームが無効化されます。
- トラッキングモードは Mac OS システムでは利用できません。

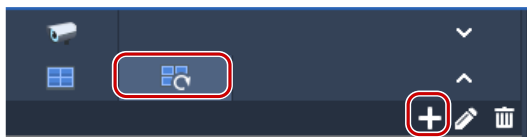
シーケンスディスプレイ

シーケンスリソース

グループ内のカメラからのライブビデオをウィンドウで1つずつ再生します。最初にシーケンスリソースを作成しておく必要があります。

シーケンスリソースの作成

1. ライブビューページ上でシーケンシャルリソースタブをクリックし、追加ボタンをクリックします。コントロールパネル上でシーケンシャルリソースをクリックしてシーケンスリソースを追加することもできます。



2. シーケンスリソース名、シーケンス間隔、含めるビデオチャンネル、ストリーム種別、プリセット（PTZ カメラ）など、ウィンドウ内の設定を完了してください。必要に応じ、

トップ、アップ、ダウンおよびボトムに置くボタンをクリックしてシーケンスを調整してください。

シーケンシャルリソース情報

名称: 倉庫 シーケンシャル間隔: 20 ☒ シーケンシャルリソース有効にする

ビデオチャンネル

キーボードで入力して検索します

- ☐ NVR(6/59)
 - ☐ NVR(5/57)
 - ☐ NVR2(1/2)
- ☐ グループ(6/59)
 - ☐ 倉庫1(5/57)
 - ☐ 倉庫2(1/2)

>>

削除

トップ アップ ダウン ボトムに置く

✓	チャンネル名称	ストリーム	プリセット
<input type="checkbox"/>	206.27.4_003_IP ...	サブ	
<input type="checkbox"/>	206.10.15.110_01...	サブ	

備考

OK キャンセル

3. OK をクリックします。

シーケンスリソースの再生

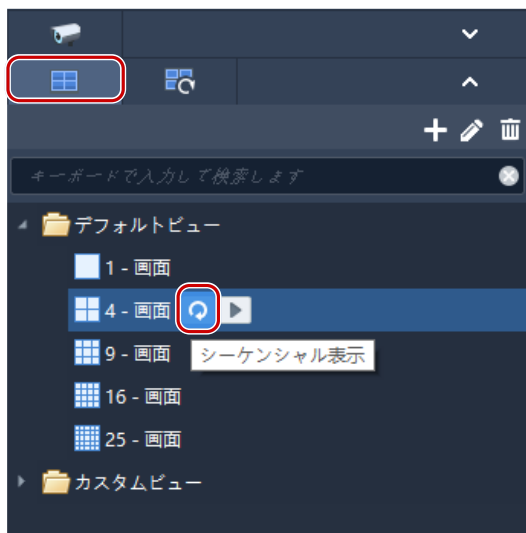
シーケンスリソース タブ上でシーケンスリソースをダブルクリックすると、シーケンスディスプレイが開始します。

シーケンスビュー

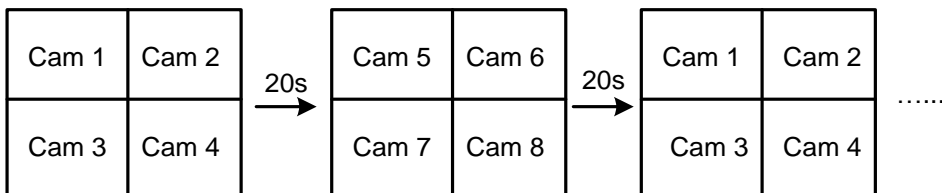
デフォルトビューシーケンス

デフォルトビューに基づいて、カメラリストのカメラからライブビデオを順番に再生します。

1. ビュータブでシーケンシャル表示ボタンをクリックしてスプリットビューを作成します。
ここでは4画面ビューを例にとります。



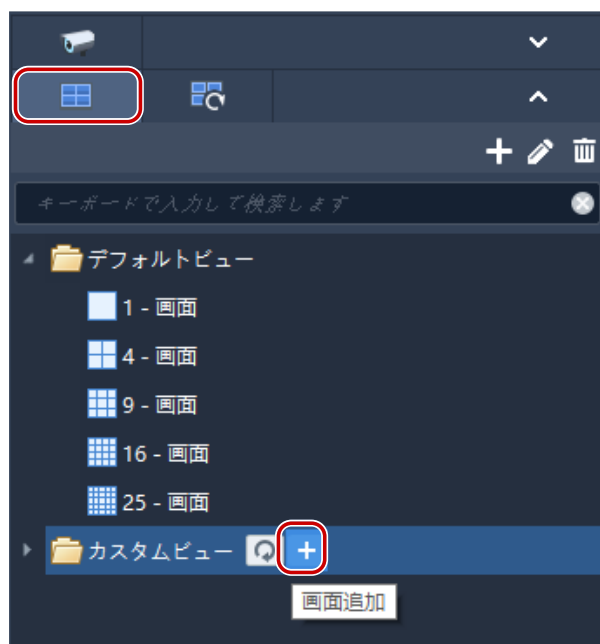
2. シーケンスの表示間隔を設定します。
3. 8 台のカメラがあり、シーケンス間隔が 20 秒に設定されているとします。その場合、シーケンスは以下に示すように表示されます。



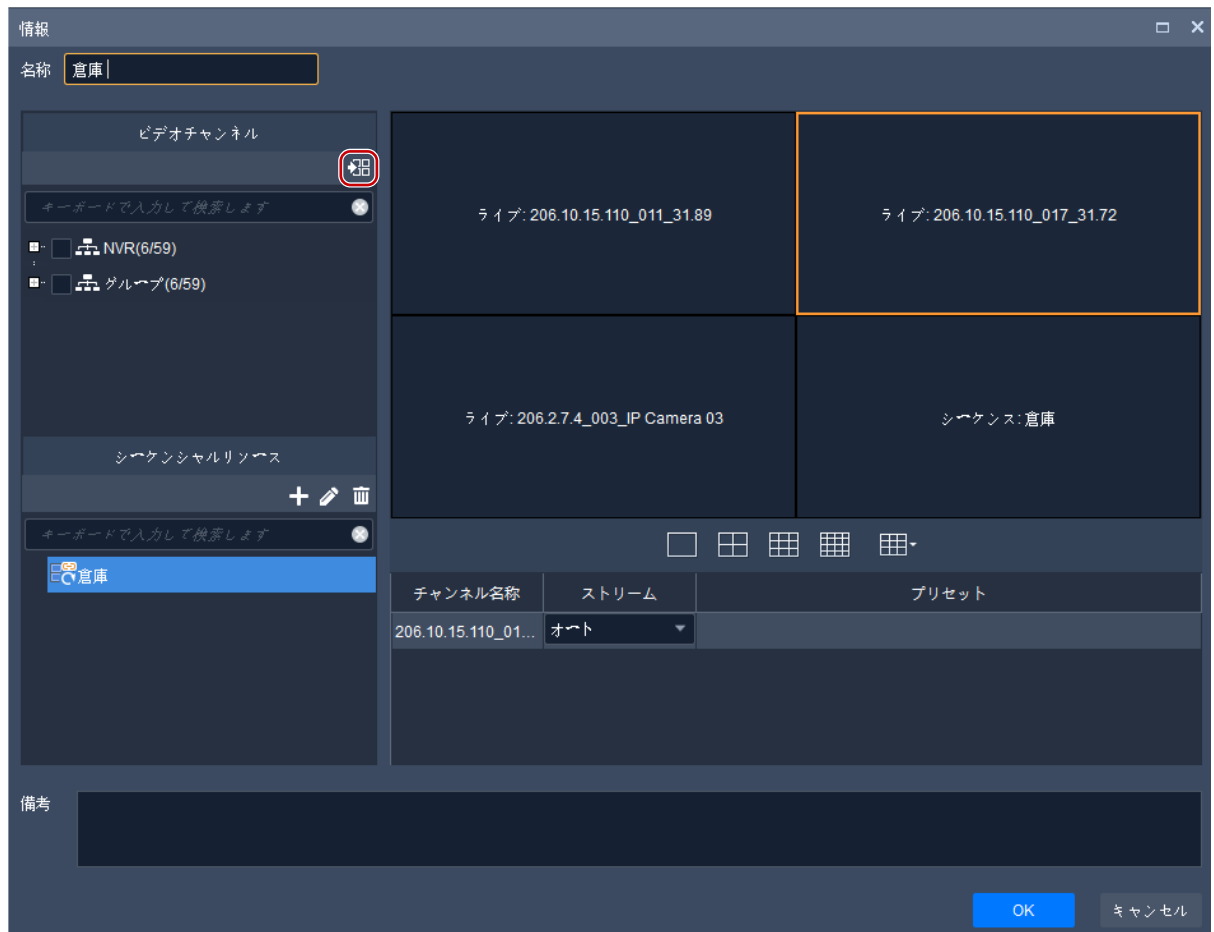
カスタムビューシーケンス

カスタムビューでライブビデオを順番に再生します。

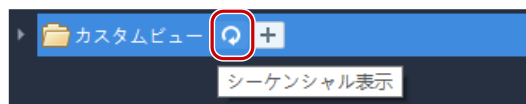
1. カスタムビューを作成するには、画面追加をクリックします。



2. ビュー名、ウィンドウレイアウト、カメラ/シーケンスリソースとウィンドウ間のバインド（カメラ/シーケンスリソースをウィンドウにドラッグするか、追加をクリック）、ストリーム種別（カメラのみ）、プリセット（PTZ カメラのみ）など、ウィンドウ内の設定を完了してください。設定が完了したら OK をクリックします。



- 上記の手順を繰り返して、必要なカスタムビューをすべて作成します。
- シーケンシャル表示ボタンをクリックし、作成したカスタムビューの順序を確定します。



6 録画と再生

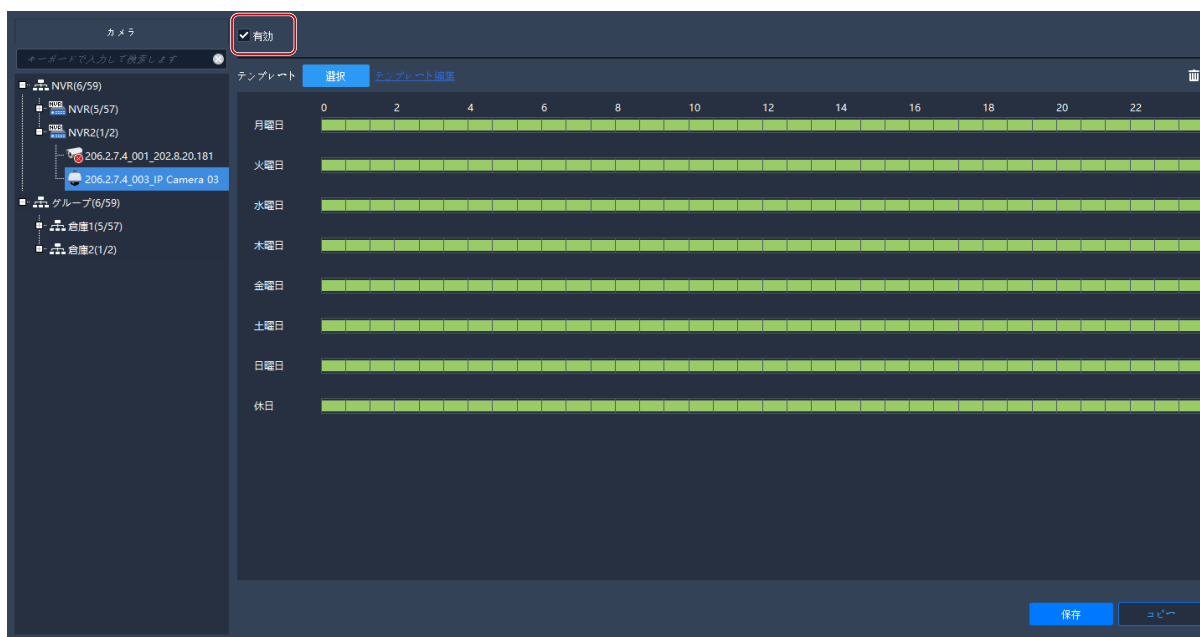
ビデオの録画および再生またはダウンロード用に検索を行うことができます。

録画スケジュールの設定

NVR に録画スケジュールを設定して、ビデオを自動的に録画できます。この機能は、NVR 接続カメラでのみ利用できます。録画されたビデオは、PC ではなく NVR に保存されます。コントロールパネルの録画スケジュールをクリックして次の手順を実行してください。

毎日 24 時間録画スケジュールの設定

テンプレートを使用して、毎日 24 時間の録画スケジュールを設定します。

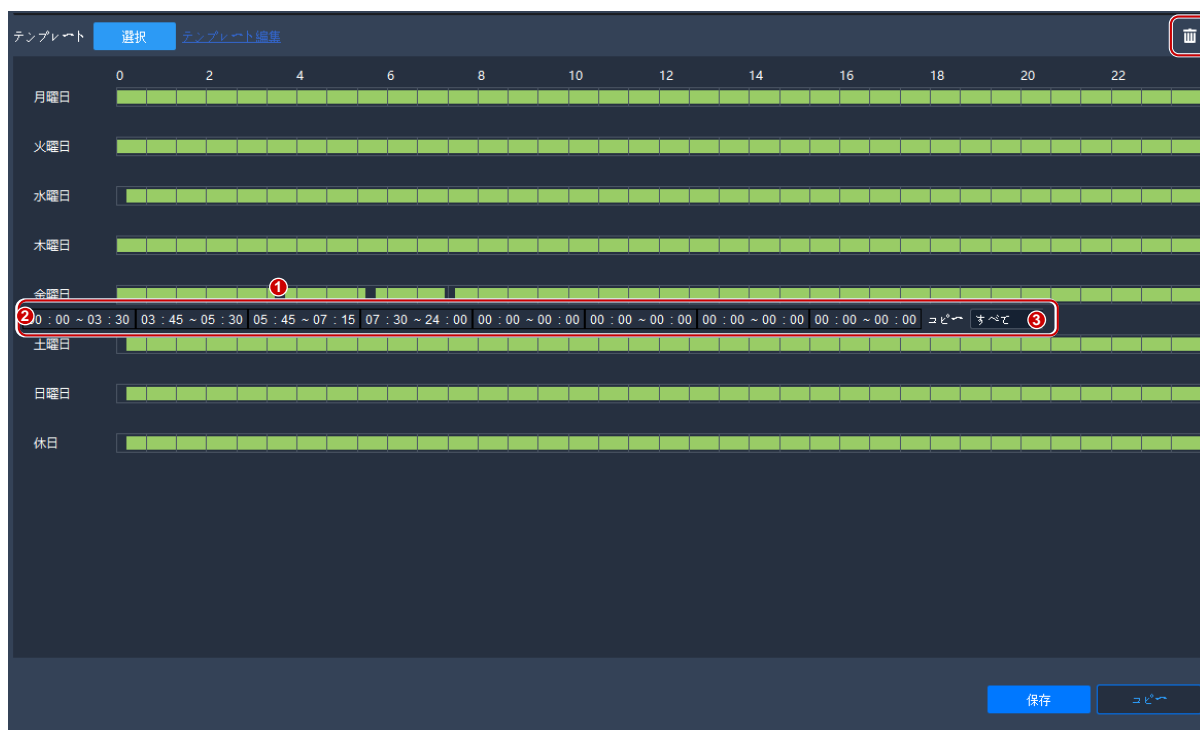


1. 録画スケジュールを設定するカメラを選択してください。
2. 有効チェックボックスが選択されていることを確認してください。
3. 選択ボタンをクリックし、終日テンプレートを選択します。カレンダーの青色表示は、ビデオが記録される期間を意味します。
4. 保存をクリックします。

録画スケジュールのカスタマイズ

毎日 24 時間の録画スケジュールをベースにカスタマイズできます。

1. 緑色の部分をクリックまたはドラッグして消去するか、空白領域をクリックまたはドラッグして追加します。右上のクリアボタンをクリックすると、すべての時間帯がクリアされます。
2. 手順 1 で説明した方法に加え、開始時間と終了時間を手動で入力することもできます。1 日につき、最大 8 つの時間帯を設定できます。





3. 1 日の設定が完了したら、ドロップダウンリストから選択して、設定を他の日にコピーできます。たとえばすべてを選択します。
4. 保存をクリックすると、選択されたカメラの設定が完了します。
5. 他のカメラで同じ録画スケジュールを作成するには、コピーをクリックします。



ヒント！

終日および平日テンプレートに加えて、8 つのテンプレートをカスタマイズして、さまざまな録画スケジュールを保存できます。

ビデオの手動録画

ウィンドウツールバー上のローカル録画開始 () およびローカル録画停止 () ボタンをクリックして、ライブビデオを PC にローカル保存できます。ストレージパスとビデオ形式は、クライアント設定から設定できます。

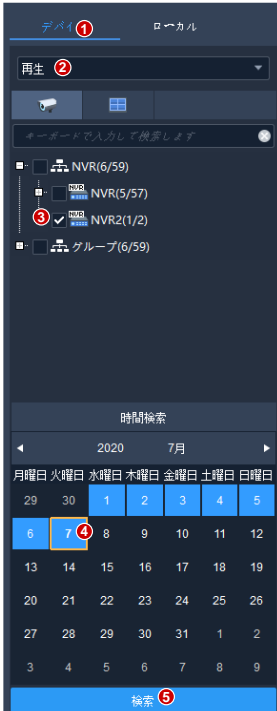


再生

コントロールパネルの再生をクリックすると、デバイスの録画やローカル録音を含む録画の検索および再生ができます。

デバイス録画の再生

デバイスの録画とは、NVR またはカメラにマウントされている SD カードに保存されているビデオを指します。デバイス録画を検索する場合、表示される時間は、PC ではなくデバイスのシステム時間と同じものです。GUI と操作は、選択した再生種別によって異なる場合があります。一般的な手順を説明するために、例として通常の録画再生を取り上げます。

手順	説明
	<ol style="list-style-type: none"> 録画ソース（デバイス録画）を選択します。 再生種別を選択します。 カメラを選択します。 検索時間を選択または設定します。デバイスが別のタイムゾーンにある場合は、デバイスのローカル時間を使用してください。 Search をクリックします。 <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> 手順 2 では、サブタイプを選択することで、イベント録画または VCA 録画を検索できます。 手順 3 では、複数の選択が許可されている場合、最大 16 台のカメラがサポートされます。 手順 4：カレンダーには、選択したカメラの検索結果が表示されます（青は通常の録画、赤はアラーム録画を意味します）。この機能は、通常録画再生モードとスマート録画再生モードでのみ使用できます。

ローカル録画と画像の再生

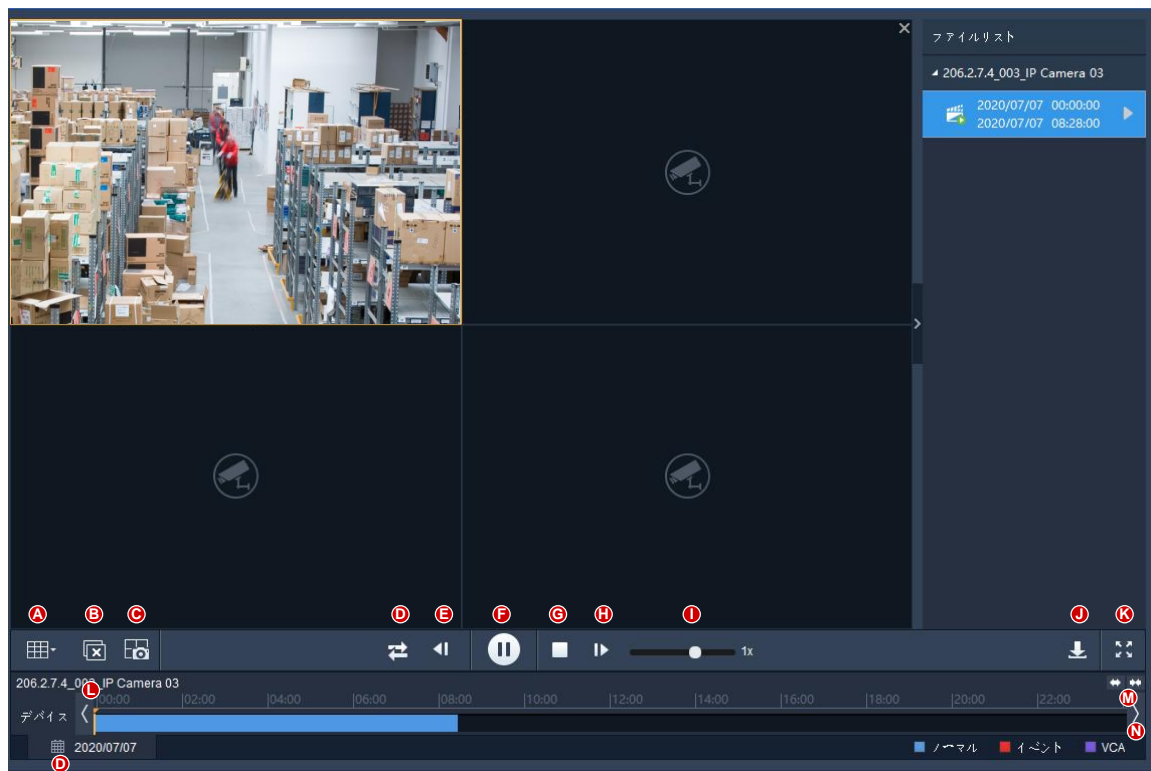
PC に保存されているビデオや画像を検索して再生します。ローカル録画の時間は、PC の時間です。

- ローカルタブをクリックしてください。
- カメラを選択します。
- 検索時間を設定します。
- デフォルトでは、録画を検索します。画像を検索するには、**イメージラジオボタン**を選択してください。
- 検索** をクリックします。検索結果は右側のリストに表示されます。

再生コントロール

右側のリストでファイルをダブルクリックすると、再生を開始します。または、タイムラインをクリックして、対応する時間から再生を開始することもできます。

再生ツールバー



ボタン	説明
A	ウィンドウレイアウトを設定します。
B	すべてのウィンドウを閉じます。
C	クリックすると、すべてのウィンドウで画像のスナップショットを撮ります。
D	<p>クリックすると同期再生モードに切り替えます。同期再生モードでは、操作（たとえば、一時停止、再開、停止、速度の調整、タイムラインをクリックしてそのポイントから再生を開始する）は、すべての再生ウィンドウに対して行われます。</p> <p>注意： 同期再生中の頻繁な操作（一時停止/再開、速度の調整など）は、同期パフォーマンスに影響する場合があります。</p>
E/H	フレームごとに再生します。クリックすると画像の前/次のフレームを再生します。
F	一時停止/再開します。
G	停止
I	再生速度を調整します。
J	録画をダウンロードします。
K	全画面モードに切り替えます。 ESC を押すと解除します。
L/N	タイムラインを前後に移動します。

ボタン	説明
M	タイムラインを拡大/縮小します。
0	クリックするとカレンダーが開き、別の日付の録画を検索できます。

再生ウィンドウツールバー

ウィンドウツールバーは、マウスカーソルが再生ウィンドウ上にあるときに表示されます。ツールバーの操作は、このウィンドウ専用です。



表 6-1 再生ウィンドウツールバー

ボタン	説明
A	スナップショットを撮影して、PCに保存します。イメージ形式とストレージパスは、クライアント設定で設定可能です（ クライアントの設定 参照）。
B	デジタルズームです。有効にすると、マウスをドラッグして画像上に領域を指定してズームインをオンにし、スクロールホイールを使用してズームインまたはズームアウトできます。
C	ビデオをクリップしてダウンロードします。
D	PC のスピーカーの音量をミュートまたは調整します。
E	現在のビットレートと解像度です。



ヒント！

- カメラが魚眼カメラの場合、ツールバーに が表示されます。このボタンをクリックすると、魚眼レンズコントロールパネルが開きます。
- カメラが多重センサーカメラの場合、ツールバーには が表示されます。トラッキングモードを有効化するにはこのボタンをクリックしてください。
- 画像品質を改善するためにネットワーク環境に応じて、ストリーム伝送プロトコル（[クライアントの設定](#) 参照）を選択できます。

右クリックメニュー

再生中にウィンドウを右クリックすると、メニューが表示されます。メニューの多くの機能は、ツールバーのボタンと同じです。

ビュー再生

通常の録画再生モードでビュー再生を行うと、設定されたウィンドウレイアウトのウィンドウにバインドされたカメラの録画が再生されます。ビュータブでカスタムビューを選択し、カレンダーで日付を選択して、**検索**をクリックします。

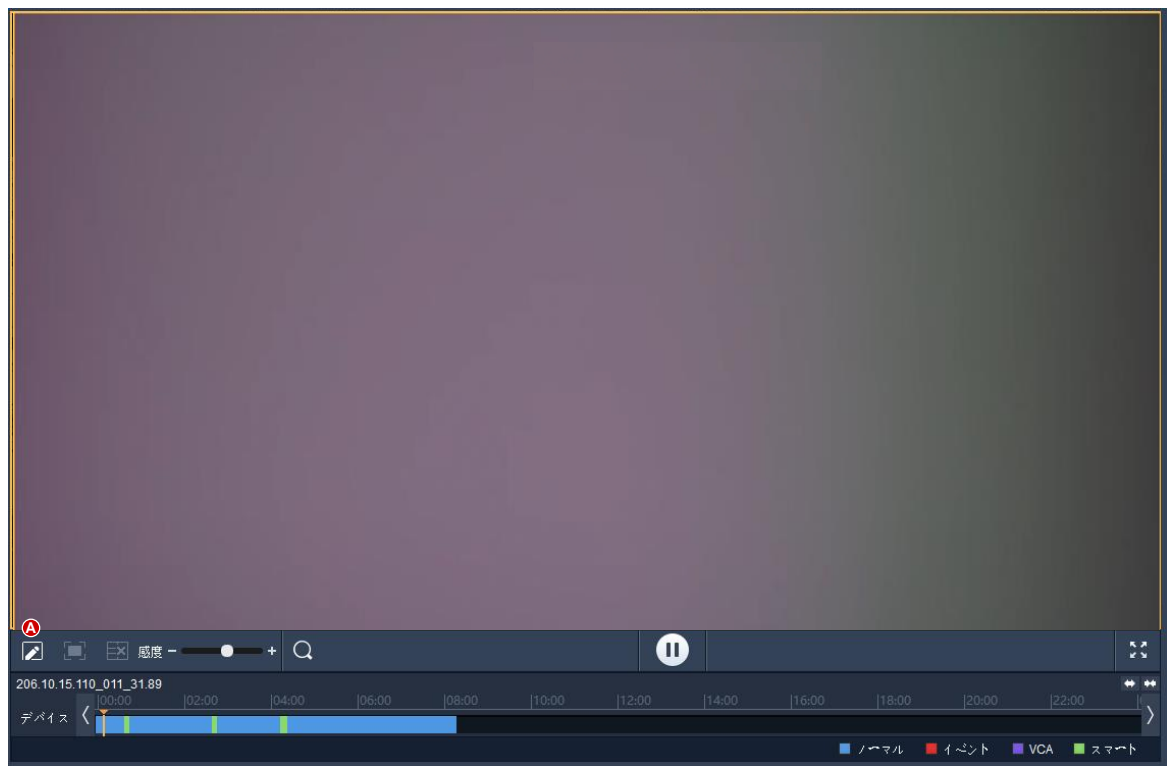
この機能はデバイス録画のみで利用できます。

スマート検索

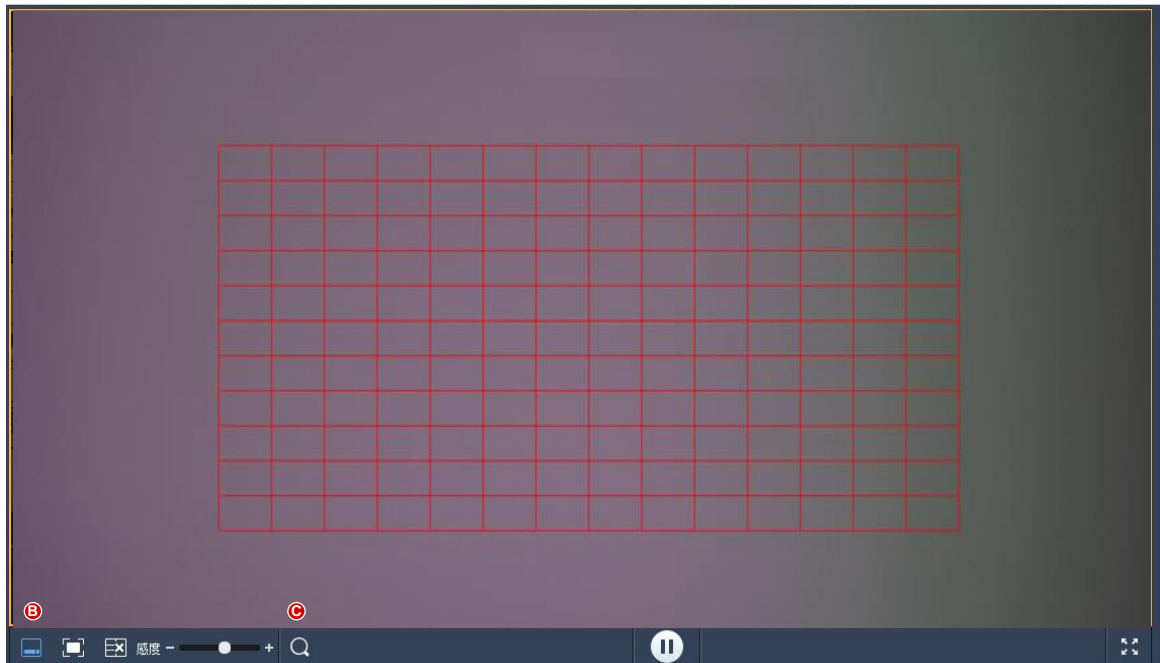
ビデオの録画の際に、NVR は、さまざまな画像の領域に動体を記録します。スマート検索を使用すると、画像中に動体が含まれる映像を検索することができます。

注意：この機能はソフトウェアが、NVR の一部モデルおよびバージョンで作動する場合に限り、利用可能です。

1. デバイスタブで、ドロップダウンリストから**スマート再生**を選択します。カメラを選択してから、カレンダーで日付を選択します。
2. タイムラインに検索結果が表示されます。緑はビデオ中で画像が変化している部分を意味し、緑の部分は通常速度で再生されます。他の無関係な部分は高速で再生されます。



3. デフォルトでは、スマート検索によって画面全体が検索されます。**エリア指定ボタン**(A)をクリックして検索領域をドラッグするか、検索領域をクリックして編集できます(赤いグリッドで囲まれた部分)。




4. **エリア指定完了ボタン**(B)をクリックし、必要に応じて検索感度を調整し、**検索ボタン**(C)をクリックすると再度検索されます。


録画のダウンロード

録画のダウンロード

次の操作で、デバイスからパソコンに録画をダウンロードします。

- 検索後に録画リストで**ダウンロードボタン** () をクリックする ([再生ツールバー](#) をご覧ください) 。
- ウィンドウツールバーで**クリッピング開始**と**クリッピング停止**のボタンを使用する ([再生ウィンドウツールバー](#) をご覧ください) 。
- 右クリックメニューを使用する。

ダウンロードタスクの管理

GUI の左下にある**操作管理ボタン** () をクリックして、ダウンロードタスクを管理します。

録画ダウンロードタブで、ダウンロードタスクの停止、終了したタスクのクリア、ダウンロードした録画の再生、およびフォルダを開いてダウンロードした録画の表示ができます。



注意：

- ダウンロードタスクを終了しても、すでにダウンロードされた録画はパソコンから削除されません。
- クライアント構成 > 映像&音声 > 録画 でファイルフォーマットとパスを設定できます。
- ダウンロードした録画を再生するには、ビデオプレーヤー（VLC など）が必要です。

7 ビデオウォール

物理的ビデオウォールでビデオを再生します。

ビデオウォールは、ビデオウォールの作成に使用されるデバイスに応じて、DX ビデオウォールとデコーディングカードビデオウォールに分割されます。

- DX ビデオウォール：デコーディングデバイスによって作成されるビデオウォール。
- デコーディングカードビデオウォール：NVR のデコーディングカードによって作成されるビデオウォール。



ヒント！

- **デバイス管理** > **デバイス**で、管理者としてデコーディングデバイスまたはNVRを追加します。
- サポートされるビデオウォールの数、実行できる操作、利用可能な機能は、デコーディングデバイスやバージョンによって異なります。

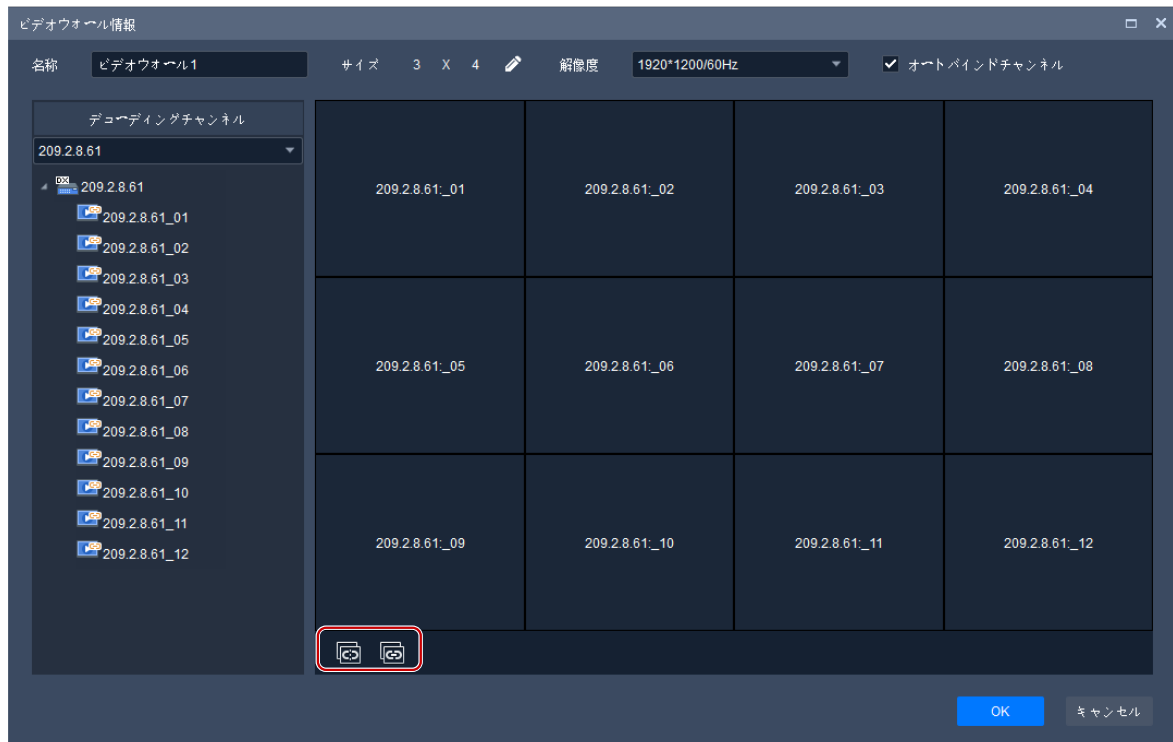
ビデオウォールを追加

コントロールパネルで**ビデオウォール**をクリックします。初めて使用する場合は

 **+ ビデオウォール**


をクリックし、ビデオウォールのタイプを選択します。ビデオウォールが既

に存在する場合、ビデオウォール名の右の  をクリックしてビデオウォールを追加します。




1. ビデオウォール名を入力します。
2. ビデオウォールの作成に使用したいデコーディングデバイスを選択します。ソフトウェアは自動的にビデオウォールのサイズを設定し、ウィンドウにデコーディングチャンネルをバインドします。画面にデコーディングチャンネル名が表示されます。
3. ビデオウォールのサイズ、解像度、またはデコーディングチャンネルとウィンドウの間のバインディングを編集します。必要に応じてすべてのバインド解除するまたはすべてをバインドするボタンを使用します。
4. OK をクリックします。

注意：

- ビデオウォールのサイズが物理的ビデオウォールと一致することを確認します。
 - 必要に応じて小ピクセルピッチ LED を設定します。特殊 LED 幅は最後の列の幅です。特殊 LED 長さは最後の行の高さです。単位はピクセルです。
5. ビデオウォールを編集または削除するには、ビデオウォール名の横の  をクリックします。

ビデオウォールの操作

ビデオウォールでビデオを再生する

ビデオウォールでビデオを再生する前に、オンラインカメラの後の  にカーソルを置くとライブビデオをプレビューできます。

1. ウィンドウにカメラをドラッグすると、ビデオウォールでライブビデオの再生が始まります。



ヒント！

ビデオウォールによっては、まず画面でウィンドウを開く必要があります。使用可能な機能は実際のビデオウォールによって異なります。たとえば、画面上でドラッグすると手動でウィンドウが開き、既存のレイアウトを選択するか座標とウィンドウサイズを選択すると自動的に開きます。



ヒント：複数のカメラやグループでライブビデオの再生を開始する場合、カメラまたはグループを選択し、ウィンドウをクリックしてから、画面で画面全部を再生するまたはウォール全部を再生するをクリックします。

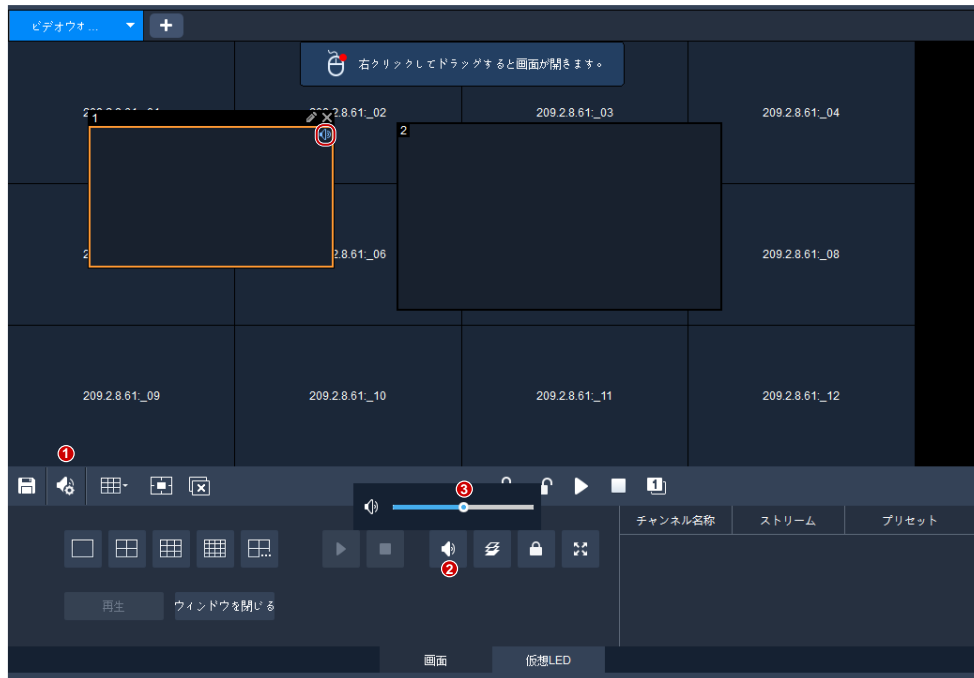
- 画面で再生：1枚のウィンドウで再生されます。
 - ウォールで再生：2枚以上のウィンドウで再生されます。
2. シグナルソース（パソコンなど）を再生するには、信号ソースタブをクリックし、希望のウィンドウにシグナルソースをドラッグします。
- アラーム起動型ライブビデオを再生するウィンドウを選択するには、ウィンドウを右クリックし、アラームトリガーウィンドウに設定しますをクリックします。アラーム起動型ライブビデオが設定されていることを確認します（詳細については [アラーム起動型アクションの設定](#)をご覧ください）。設定をキャンセルするには、ウィンドウを右クリックし、アラームトリガーウィンドウに解除しますをクリックします。



注意：

- アラームウィンドウとして、1枚のウィンドウのみを設定できます。
- NVRのデコーディングカードを使用してビデオウォールを作成する場合、アラーム起動型ライブビデオは、NVR下のカメラでのみ利用できます。

音声出力

ウィンドウまたは画面で再生されるカメラの音声を出すには、DX デバイスの音声出力チャンネルを使用します。特定の DX デバイスモデルで作成された DX ビデオウォールのみがこの機能に対応しています。



1.  (1) をクリックし、音声チャンネルを選択します。
2. ウィンドウ/画面をクリックしてから  (2) をクリックするか、右クリックして **音声** を選択します。右上にアイコンが表示されますが、これは、音声チャンネルがウィンドウ/画面の IPC の音声を出力していることを意味しています。
3. 必要に応じて出力音量を調整するか、音声をミュートします。

シーケンスリソースの再生

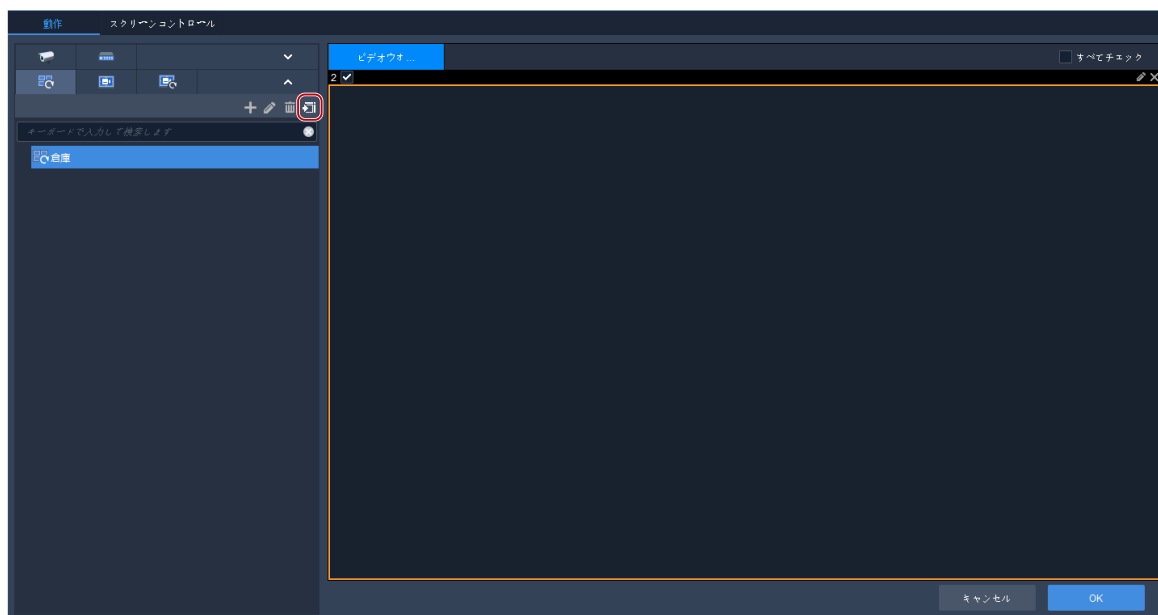
ビデオウォールでシーケンスリソースを再生します。1 枚のウィンドウでのシーケンスビデオ、複数のウィンドウでのシーケンスビデオ、シーケンスシーン、の 3 つのシーケンスモードが利用できます。

1 枚のウィンドウでのシーケンス

シーケンシャルリソースタブで、ウィンドウにシーケンスリソースをドラッグします。

複数のウィンドウでのシーケンス

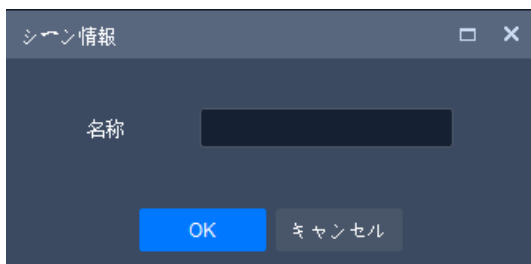
シーケンシャルリソースタブで、シーケンスリソースを選択し、**画面全部を再生する** をクリックし、ウィンドウを選択します。




シーケンスシーン

シーンとは、画面レイアウト、ウィンドウ、ビデオサービス（ライブビューまたはシーケンス）を含むビデオウォール設定を指しています。シーンでボタンを 1 回クリックすると、ビデオウォール設定を呼び出すことができます。シーケンスシーンでは、設定された時間に応じて、異なるシーンが表示されます。

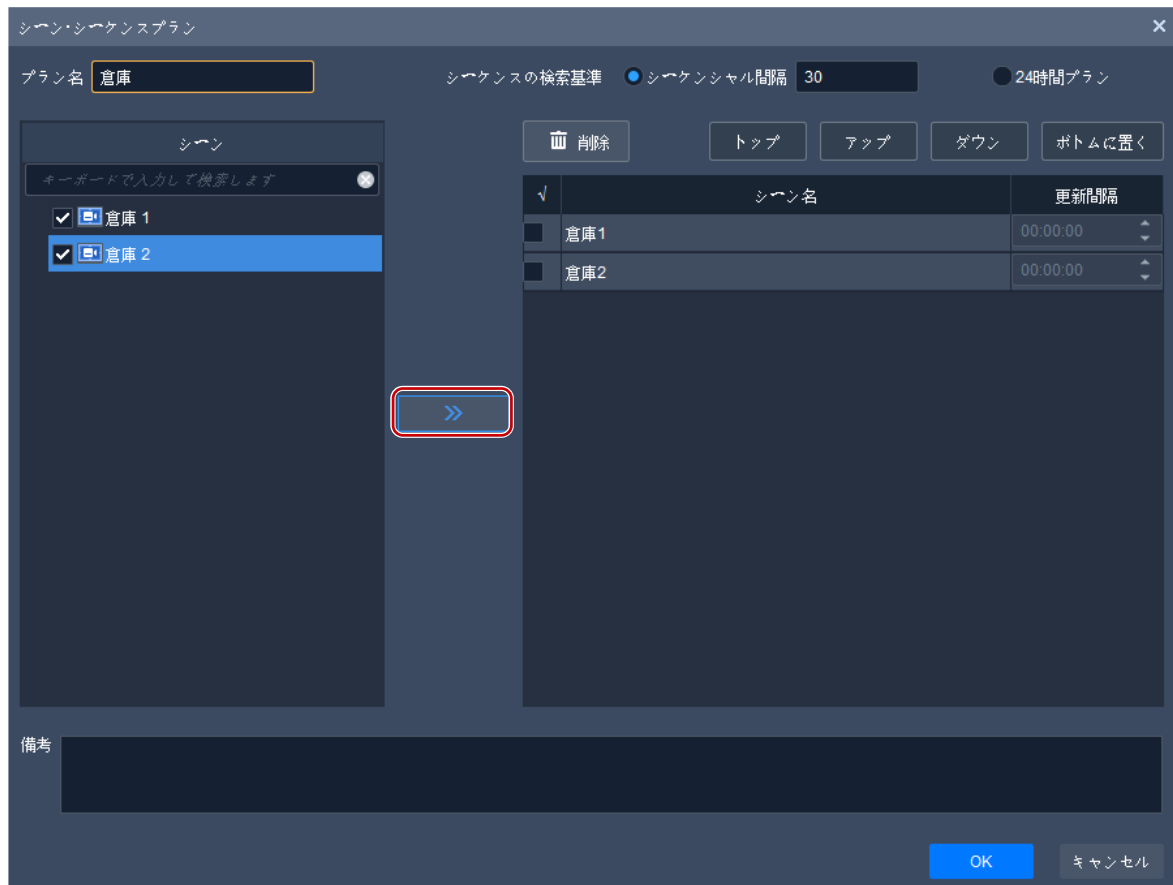
1. シーンタブで  をクリックするか  をクリックすると、シーンが作成できます。



2. シーンプランタブで  をクリックすると、シーンシーケンスプランが作成できます。

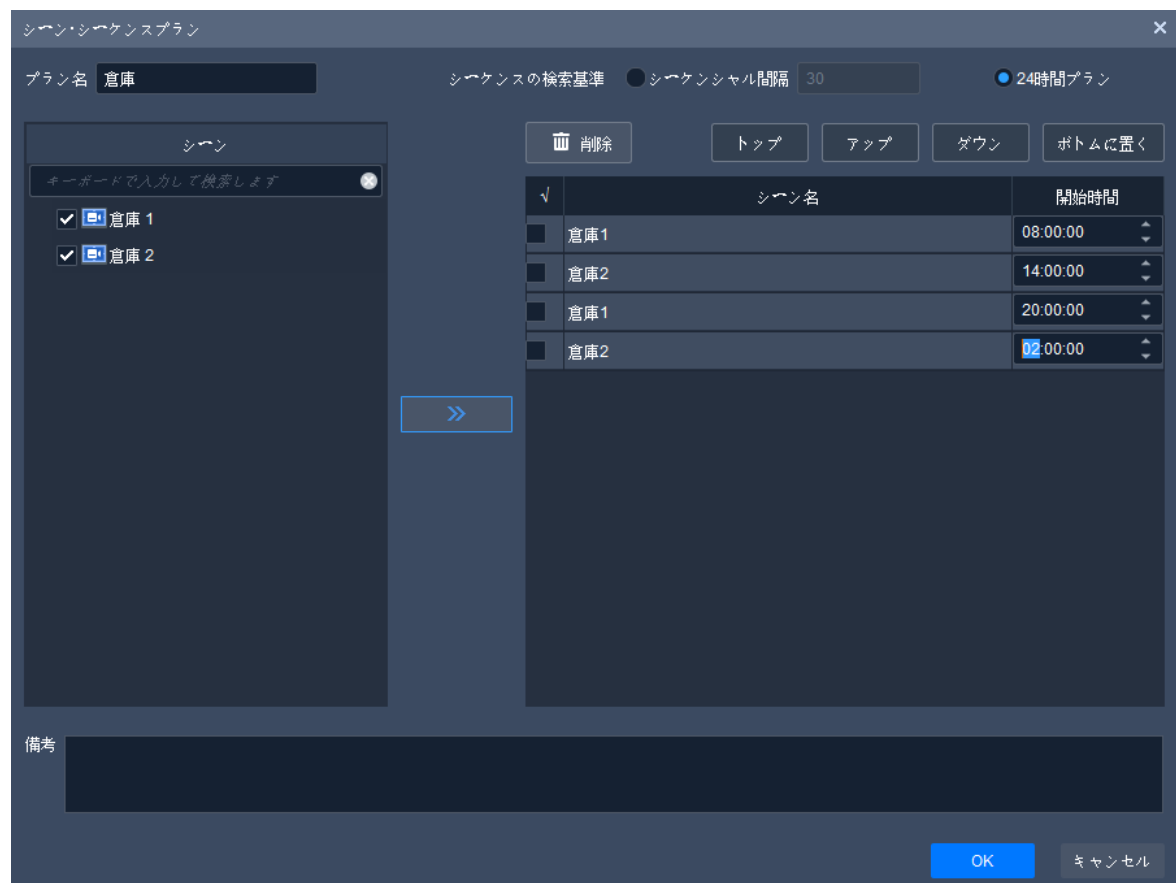


3. シーンを選択してプランにインポートします。

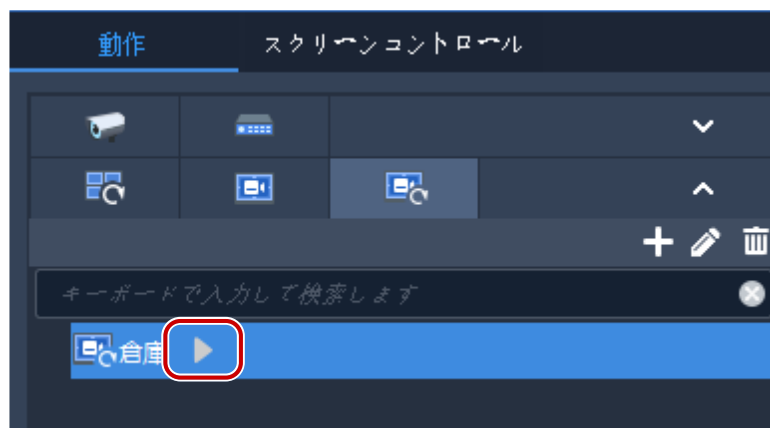


4. シーケンスモードを設定します。時間間隔でシーケンスするか、24 時間シーケンスプランを設定するかを選択できます。

- 時間間隔によるシーケンス：設定された時間間隔（上図の例では 30 秒）でシーンを 1 枚ずつ表示します。
- 24 時間プラン：プランを有効にしてから開始時間を設定します。設定した時間になると、ビデオウォールにシーンが自動的に表示されます。必要に応じてシーンを繰り返し追加できます。



5. シーンシーケンスプランはシーンプラントブに表示されます。**起動**をクリックするとシーンシーケンスが始まります。



その他のビデオウォールの操作

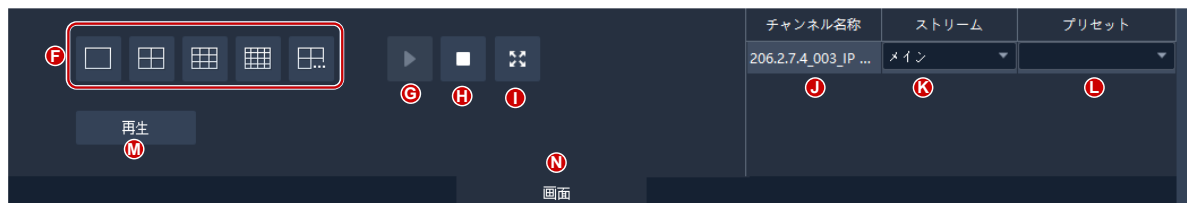
その他のビデオウォールの操作については下表を参照してください。

図 7-1 ビデオウォールコントロール



ツールバーのボタンは、ビデオウォールのすべてのウィンドウで有効です。


番号	説明
A	シーンを保存する。詳しくは シーケンスシーン をご覧ください。
B	シーンを結合する（2 枚以上の画面を組み合わせて1枚の大きな画面を作成する）。
C	全部のウィンドウでデコードを開始する。
D	全部のウィンドウでデコードを停止する。
E	クリックすると、上から下、左から右へ、位置に応じて全部のウィンドウに番号が付け直される。







ウィンドウコントロール領域。この領域のボタンは、選択したウィンドウのみで有効です。

番号	説明
F	画面を分割する。
G	デコーディングを開始する。
H	デコーディングを中止する。
I	全画面モードでウィンドウが表示される。
J/K/L	現在のカメラ、ストリームタイプ、プリセット（PTZ カメラのみ）。
M	録画の検索と再生。
N	ウィンドウコントロール領域の表示/非表示。

DX ビデオウォールでは以下の機能も使用できます。

- 仮想 LED。ビデオウォールウィンドウにテキストをオーバーレイして背景に設定し、テキストのコンテンツ、サイズ、スペース、配列、透明度、スクロールをカスタマイズできます。
-  : 2 枚以上のウィンドウを重ねる場合、デフォルトでは、選択したウィンドウが一番上に表示されます。ウィンドウが一番下に表示されるよう設定するにはこのボタンをクリックします（もしくは、ウィンドウを右クリックし、ショートカットメニューから選択します）。

-  : ウィンドウの位置と形状をロックします（もしくは、ウィンドウを右クリックし、ショートカットメニューから選択します）。 をクリックするとアンロックされます。
-  : このボタンをクリックすると、選択したウィンドウが全画面表示になります（もしくは、ウィンドウを右クリックし、ショートカットメニューから選択します）。
 をクリックすると復帰します。
- ウィンドウ情報の表示: ウィンドウまたは画面を右クリックし、**画面情報**を選択すると、ウィンドウ ID、分割画面 ID、ストリーム状態などの情報が表示されます。
- 一部の DX ビデオウォールでは、ウィンドウをダブルクリックすると拡大され、再度ダブルクリックすると元の大きさに復帰します。

画面コントロール

スクリーンコントロールタブで小ピクセルピッチ LED 画面などの画面をオン/オフできます。クライアントで操作する前に、画面、配電盤（LED 画面用）、サーバーが適切に接続されていること確認してください。

シリアルポートとプロトコルの設定

デコーディングデバイスモデルと画面タイプに応じて、シリアルポートとプロトコルを設定します。

シリアルポート

COM1

プロトコル

UA

画面自動オン/オフ

☐ 自動オン 0:00

☐ 自動オフ 0:00

保存

スクリーンオン

スクリーンオフ ☐ オフ 10 分

設定した時間に自動的に画面をオンまたはオフにする

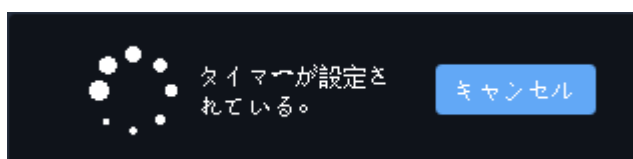
1. 自動オンまたは自動オフを選択し、自動的に画面をオンまたはオフにする時間を設定します。
2. 保存をクリックします。設定した時間に自動的に画面がオンまたはオフになります。

手動で画面をオンまたはオフにする

1. スクリーンオンをクリックします。直ちに画面がオンになります。
2. スクリーンオフをクリックします。直ちに画面がオフになります。

一定時間後に画面をオフにする

1. オフのチェックボックスを選択し、テキストボックスに時間を記入します。
2. スクリーンオフをクリックします。
3. 下のようなメッセージが表示されます。タイマーが時間切れになると画面が自動的にオフになります。



8 行動検索

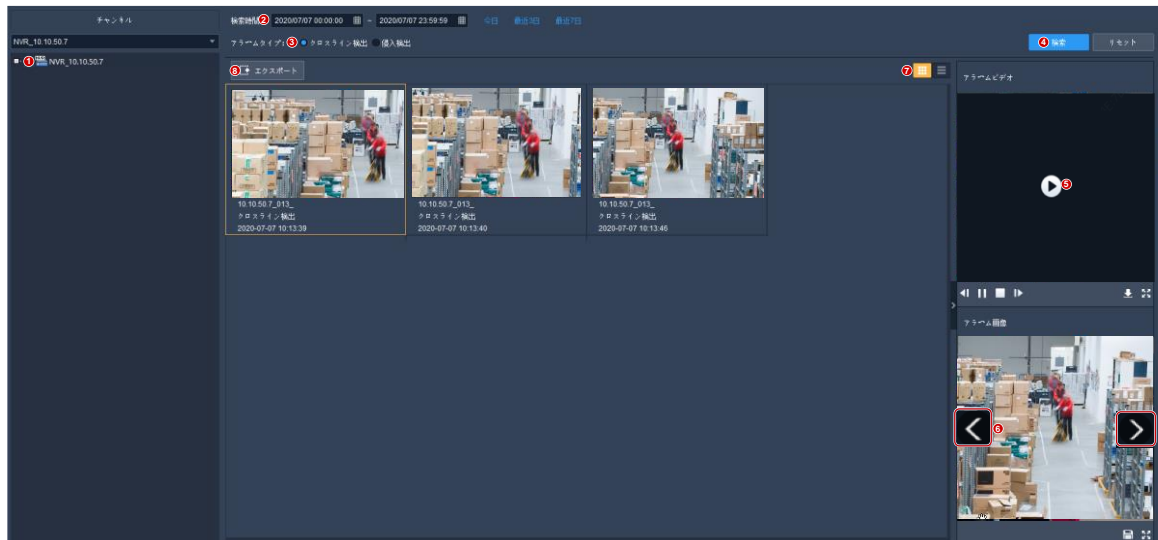
NVR で VCA 画像と録画を検索します。



ヒント！

この機能は特定の NVR デバイス/バージョンで利用できます。現在、この機能はライン横断検知と侵入検知でのみ使用できます。

1. 画像で説明されている指示に従ってください。



2. 必要に応じて以下の操作を実行します。

- アラームビデオ (5) を再生またはダウンロードします。アラームビデオの長さは 10 秒です（アラーム時間前の 5 秒とアラーム時間後の 5 秒）。
- アラーム画像 (6) を表示または保存します。左または右向きの矢印をクリックすると、前または次の画像が表示されます。
- (7) をクリックするとリストモードに切り換わります。
- (8) をクリックすると検索結果がエクスポートされます。

9 顔認識

ライブビデオとリアルタイム顔認識アラームを表示します。デバイスの顔ライブラリと監視タスクを管理します。

リアルタイム監視

指定のカメラで取得された顔のライブ画像とスナップショットを表示します。取得された顔や監視目的でライブラリに保存された顔など、アラームの録画や詳細を表示します。

1. カメラをダブルクリックすると、ライブビューが開始し、顔のスナップショットが表示されます。カメラは4台まで許可されます。

The screenshot displays the 'リアルタイム監視' (Real-time Monitoring) interface. It includes a sidebar for camera management, a central live video feed, a 'スナップショット' (Snapshot) panel, and a 'アラーム記録' (Alarm Record) table.

アラーム時間	名称	ID 番号	一致	アラームソース
2020-07-07 21:56:44	123	123	54%	CM46EWH-S421012-H16DV3-F40_192.168.2.34
2020-07-07 21:56:44	htjrj		50%	CM46EWH-S421012-H16DV3-F40_192.168.2.34
2020-07-07 21:56:44	123	123	54%	CM46EWH-S421012-H16DV3-F40_192.168.2.34
2020-07-07 21:56:44	2	2	54%	CM46EWH-S421012-H16DV3-F40_192.168.2.34
2020-07-07 21:56:44	6598	341225199007171717	50%	CM46EWH-S421012-H16DV3-F40_192.168.2.34
2020-07-07 21:56:43	123	123	50%	CM46EWH-S421012-H16DV3-F40_192.168.2.34
2020-07-07 21:56:41	123	123	55%	CM46EWH-S421012-H16DV3-F40_192.168.2.34

2. スナップショットをクリックすると、顔を含むオリジナルスナップショットなど詳細が表示されます。
3. リアルタイム顔認識アラームを表示する。録画をクリックすると、それに対応する顔比較結果が表示されます。**詳細を表示**をクリックすると、詳細情報が表示されます。取得した顔とライブラリ内の顔の一致度が、設定したアラームしきい値に達した場合にのみ、個人情報が表示されます。詳しくは [監視タスク](#) をご覧ください。



ヒント！

デバイスは、対応する監視タスクが設定されている場合にのみ、アラームをレポートします。

顔ライブラリの管理

異なる管理ニーズに対応できるように、各種ライブラリの顔を管理します。ライブラリはデバイスに保存されます。

顔ライブラリの作成

管理したいデバイスを選択すると、リストに、そのデバイスの顔ライブラリが表示されます。

+ をクリックすると新しい顔ライブラリが作成できます。ライブラリ名を編集したり、不要になったライブラリを削除できます。



顔データを追加

次のいずれかの方法で、顔ライブラリに顔データを追加します。

オプション1：一括追加の使用

1. **追加**をクリックし、ターゲット顔ライブラリを選択します。別々のデバイスから2種類以上のライブラリを選択できます。
2. **追加**をクリックし、追加したい顔画像を選択します。画像は 512KB 以下の JPG ファイルでなければなりません。
3. 編集ボタンをクリックして個人情報を入力します。



4. 次をクリックすると保存されて次の画像に進みます。もしくは終了をクリックします。
5. すべての顔情報を入力したら OK をクリックします。

オプション 2 : 顔データを含むファイルをインポートする

必要な顔データを含むファイルをインポートします。ファイルとそのコンテンツは特定のフォーマット条件を満たしている必要があり、各画像の大きさは 512KB 以下でなければなりません。

1. Download Template をクリックし、テンプレートファイルに顔データを入力します。
2. インポートをクリックし、編集済みファイルを選択します。リストに、インポートされたデータが表示されます。リストの右上のボタンをクリックすると、ディスプレイモードが切り換わります。

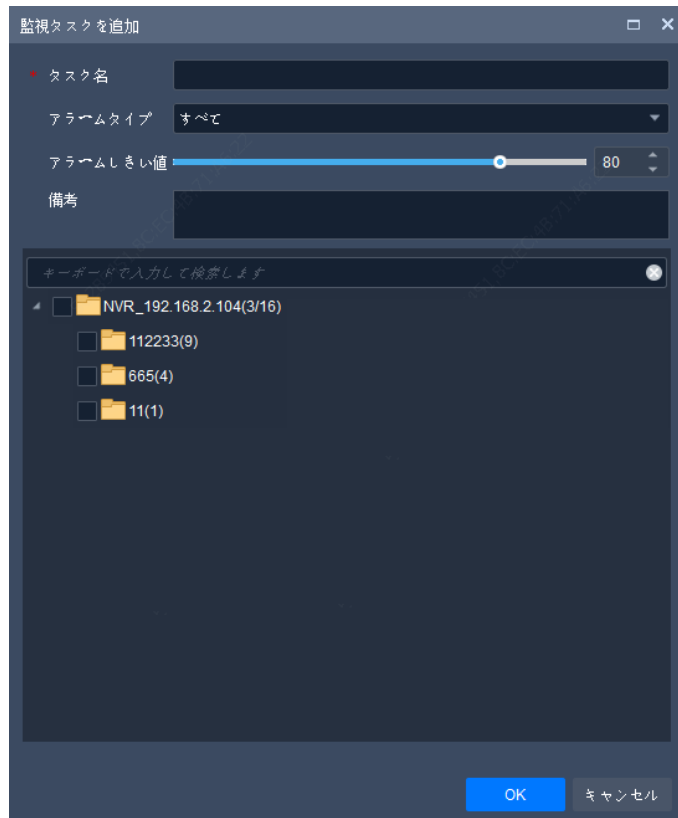


3. 必要に応じて顔データを編集または削除します。エクスポートをクリックすると、CSV ファイルに、現在のライブラリの顔データが保存されます。

監視タスク

作成した顔ライブラリを、監視に使用します。デバイスは、取得した顔を監視対象の顔と比較して、アラームを発します。

1. 左で監視用のカメラを選択し、**追加**をクリックして監視タスクを作成します。
2. タスク名、アラームタイプをセットして、監視したい顔ライブラリを選択してください。ニーズに基づいてアラームしきい値を設定します。
 - 一致アラーム： 監視された顔ライブラリでキャプチャした顔の間の類似点（すなわちリアルタイム監視ページの一致）が、アラームしきい値に達した場合、デバイスは一致アラームを発します。
 - 不一致アラーム： モニターされた顔ライブラリでキャプチャした顔の間の類似点が、アラームしきい値に達しない場合、デバイスは不一致アラームを発します。
 - すべて： デバイスがキャプチャした顔をすべて監視するには。



注意！

顔認識で一致アラームが発せられていない場合、名前および ID 番号のような個人情報はリアルタイム監視ページに表示されません。

3. **OK** をクリックします。リストに、新規作成されたタスクが表示されます。NVR チャンネルの場合、同一 NVR の他のチャンネルに監視タスクをコピーできます。

<div> <div>+ 追加</div> <div>削除</div> <div>コピー</div> </div>						
✓	タスク名	アラームしきい値	備考	顔ライブラリ	動作	
	888	80		112233		 
	1234	80		112233		 
	1	80		665		 

10 人数カウント

特定の期間内に入退出した人数のカウント。



注意！

この機能を実行するには、NVR を介して、人数カウントが可能なカメラがパソコンに接続されている必要があります。

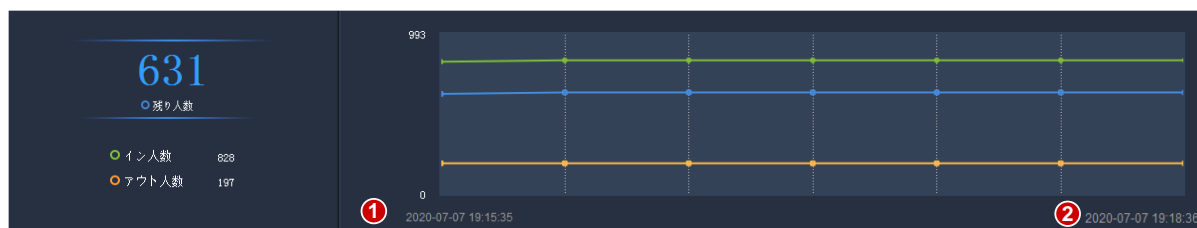
コントロールパネルで**人数カウント**をクリックします。人数カウントページには次の2個のタブが表示されます。

- リアルタイム統計：最新の7個の結果を含む選択したカメラのカウント結果が、リアルタイムで表示されます。
- レポート統計：棒グラフまたは折れ線グラフでカウント結果が表示され、エクスポートされます。

リアルタイム統計

常時カウンティングタブで、リアルタイム統計を有効にしたいカメラのチェックボックスを選択します。カメラをダブルクリックするとそのカメラでライブビデオが開始します。

- リアルタイム統計を有効にすると、選択したカメラのリアルタイムカウント結果が表示されます。



統計の内容：

- リアルタイムカウント結果（左側）：2台以上のカメラが選択されている場合、その総数が表示されます。カウントタイプの種類は3色で表示され、各色は右側の座標の線の色と一致します。
- 直近の7個のカウント結果（右側）：X軸は時間、Y軸は人数（デフォルトでは最小値が0、最大値が10ですが、実際のカウント結果に応じて更新されます）。

リアルタイム統計が有効になっている場合、カウントの最初の時間がX軸の左下に表示され(1)、カウント結果がY軸に表示されます(例: 993)。結果は定期的に更新され、直近の結果が右に表示されます(2)。





ヒント!

人数カウントページを閉じるか、システムからログアウトすると、ライブビューとリアルタイム統計が自動的に停止します。

レポート統計

カウントレポートタブでカメラを選択してから **今日** **最近7日** **最近30日** をクリックすると、直接カウントされます。または、最初に次の条件を設定します。

- カウントのタイプ: 1 分ごと、1 時間ごと、1 日ごとまたは 1 か月ごと。
- カレンダーで選択するか、所定欄に記入して期間を設定します。
- チェックボックス ☒ イン人数 ☒ アウト人数 を選択して、進入または退出する人数をカウントします。
-   をクリックすると、折れ線グラフまたは棒グラフに結果が表示されます。



ヒント!

最長期間は選択した単位(分、時間、日、月) x 60 です。たとえば、月を選択した場合は最長期間が 60 か月で、日を選択した場合は最長期間が 60 日です。

回数をクリックすると結果が表示されます。

- 線や列にカーソルを置くと、その時点での数字が表示されます。
- 列のタイトル(イン人数またはアウト人数)をクリックすると、昇順または降順に結果を並べ替えることができます。



をクリックすると棒グラフに表示されます。



エクスポートをクリックすると、パソコンに CSV ファイルとして統計がエクスポートされます。Microsoft Office Excel でファイルを開くことができます。

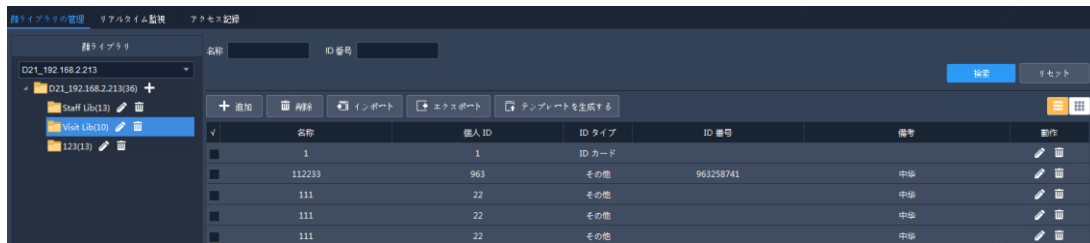
11 アクセスコントロール

アクセスコントロールデバイスからライブビデオを見たり、デバイスの顔ライブラリを管理したり、および進入/退出記録を検索/エクスポートします。

顔ライブラリの管理


アクセスコントロールデバイス上に保存された顔ライブラリを管理します。次のいずれかの方法で、顔ライブラリに顔データを追加します。


- オプション1：一括追加



1. **追加**をクリックし、ターゲット顔ライブラリを選択します。新しい顔ライブラリを追加するには、左のデバイス名の後ろの **+** をクリックしてください。
2. **OK** をクリックします。



3. **追加**をクリックして、追加したい顔イメージを選択します。個人情報を入力するには  をクリックしてください。
4. **次**をクリックすると保存されて次の画像に進みます。もしくは**終了**をクリックします。
5. すべての顔情報を入力したら **OK** をクリックします。
- オプション2：顔データを含むファイルをインポートする
必要な顔データを含むファイルをインポートします。
6. **テンプレート生成**をクリックして、テンプレートに基づいた顔データファイルを作成します。






7. インポートをクリックして、必要な顔ライブラリを選択してください。
8.  をクリックして、CSV ファイルを選択してください。
9. インポートをクリックしてください。



ヒント！

画像は JPG ファイルで、各写真のサイズは 10KB から 500KB の間とします。

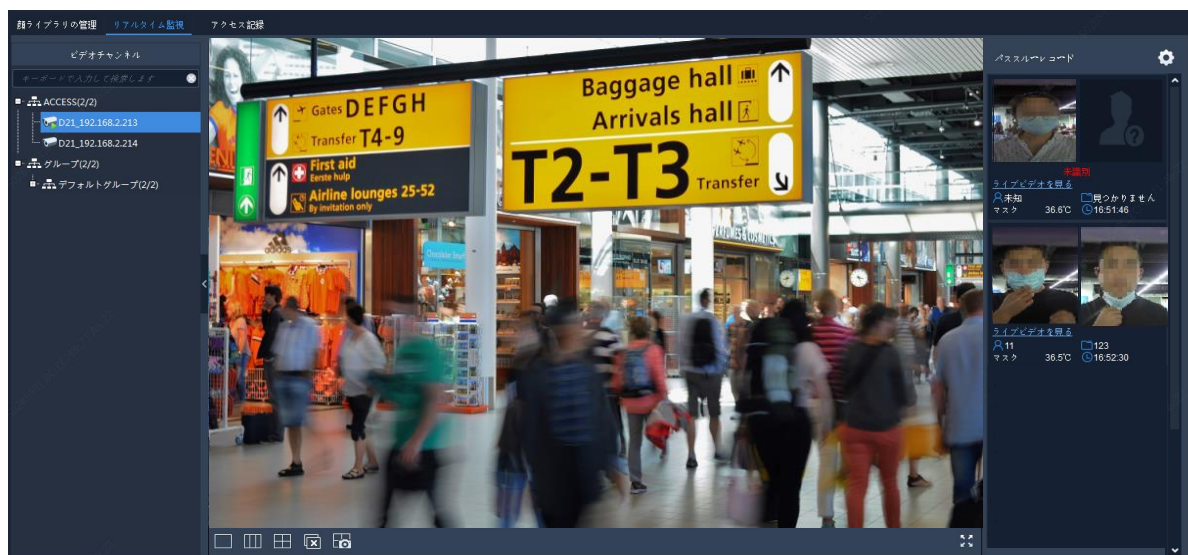
次の操作が許可されます：

- リストの右上の  をクリックすると表示モードを切り替わります。
- エクスポートをクリックすると、CSV ファイルに、現在のライブラリの顔データが保存されます。
- 顔データを編集または削除するには顔画像の下   をクリックしてください。
- 顔ライブラリを編集または削除するには、顔ライブラリの後ろの   をクリックしてください。

リアルタイム監視

アクセスコントロールデバイスから通り過ぎる人のライブビデオおよびスナップショットを表示します。さらに、スナップショットを撮ったり、デジタルズームを使用したり、遠隔でドアを開けることができます。

中央でライブビデオを始めるには左のカメラを選択してください。通過録画は右側に表示されます。



パススルーレコードエリアには、キャプチャした顔画像と対応する顔ライブラリ画像が表示されます。記録をクリックすると、顔、マスク着用ステータス、温度測定を含むオリジナルのスナップショットを含む詳細が表示されます。

キャプチャした顔画像が顔ライブラリに一致していない場合、ライブラリ写真は表示されず、顔がパススルーレコードで**未識別**として識別されます。顔ライブラリへ画像を追加するには

キャプチャした画像にマウスポインタを置いて、 をクリックしてください。名前および ID を含む情報を入力する必要があります。




ヒント！

- マスク検知および温度測定にはデバイスサポートを必要とします。また、ソフトウェア上で使用する前に、デバイス側で機能を設定する必要があります。詳細については、デバイス取扱説明書を参照してください。
- 顔を含むオリジナルのスナップショットを見るには**元のスナップショットを表示する**をクリックしてください。アクセスコントロールデバイスがオリジナルスナップショットのアップロードをサポートする場合のみ、ボタンが表示されます。
- 10 個までの通過録画が表示されます。10 個以上の録画が報告された場合、最新の録画だけが表示されます。
- 通過録画はリアルタイムで表示され、ソフトウェアが再起動する時に削除されます。
- 通過録画を表示するには、最初に顔ライブラリを少なくとも 1 つ追加することが推奨されます。

次の操作が許可されます：

- ライブビューウィンドウツールバー


ライブビューウィンドウにマウスポインタを置くと、ウィンドウツールバーが表示されます。ツールバーは、現在のウィンドウに対してのみ有効です。詳細については、[ライブビューウ](#)

[インドウツールバー](#)を参照してください。ドアを開けるにはツールバーの  をクリックしてください。

- ライブビューツールバー

詳細については、[ライブビューツールバー](#)を参照してください。

- クライアントの設定

[クライアントの設定](#) ウィンドウでアクセスコントロールを設定するには、右上の  をクリックします。

アクセス記録


進入/退出記録の表示。時間、マスク着用ステータスおよび温度範囲を含む検索条件をセットし、次に、**検索**をクリックします。



時間	名称	個人 ID	ID タイプ	ID 番号	状態	温度(°C)	デバイス名称	スナップショット	ライブラリの写真	動作
2020-07-07 12:45:03	未知	未知	未知	未知	マスクなし	36.3	D21_192.168.2.213			+ 
2020-07-07 12:45:10	3333333	333333322	ID カード	21	マスクなし	36.2	D21_192.168.2.213			

次の操作が許可されます：

- 未確認人物を顔ライブラリに追加します。

未確認の顔画像の下  クリックして、個人情報の含む名前と人員 ID を入力します。
次へをクリックして、追加先の顔ライブラリを選択します。

- 詳細表示

個人情報を表示するには**動作列**で  をクリックします。

- 録画のエクスポート


検索結果をエクスポートするには**エクスポート**をクリックします。

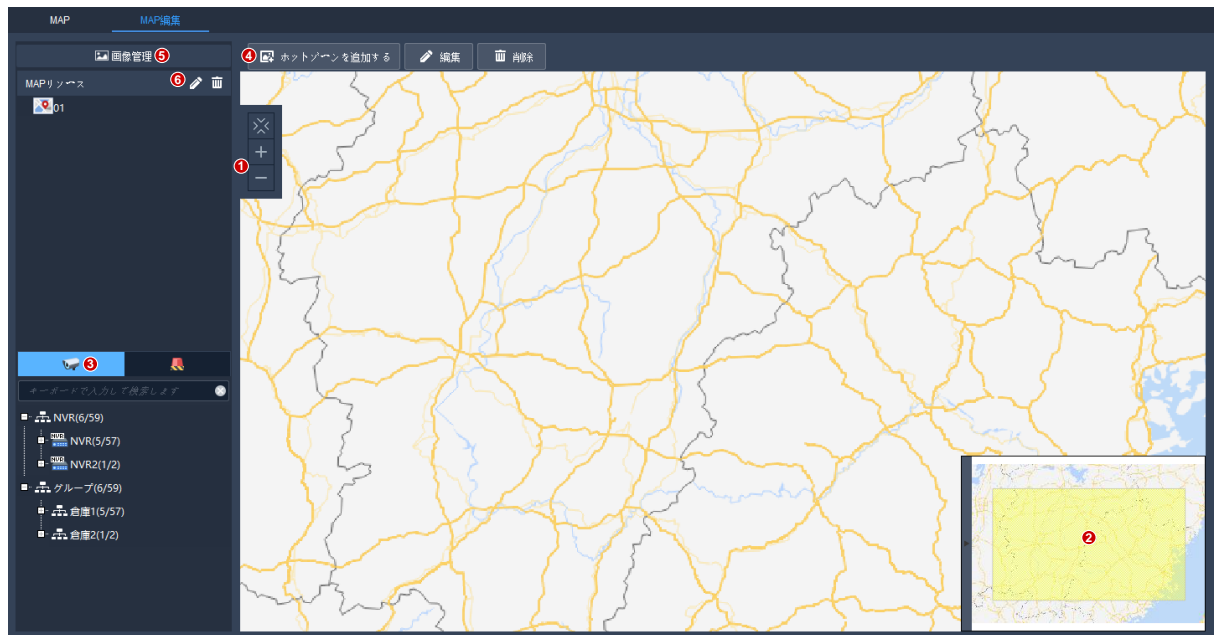
12 E マップ

まず **MAP 編集** タブで設定を完了し、次に **MAP** タブでマップを使用します。



- ホットスポット：マップに追加されたビデオチャンネルまたはアラーム入力チャンネルです。ライブビューと再生はビデオチャンネルのみで利用できます。
- ホットゾーン：マップ内のマップです。ホットゾーンにホットスポットを追加できます。

マップの設定

コントロールパネルで **E-MAP** をクリックし、 をクリックします。PNG、BMP、JPEG の各画像のみが許可されます。追加されたマップは、左のページと **MAP リソース** リストに表示されます。



以下の操作が可能です。

- マップのスケールの変更：スクロールホイールを使用するかズームボタン（1）をクリックして、マップを縮小または拡大します。
- イーグルアイ：マップの黄色の範囲（2）でドラッグすると、マップに細部が表示されます（もしくはマップを直接ドラッグします）。
- ホットスポット（3）の追加： でカメラをマップ上の希望の位置にドラッグします。 でのアラーム入力追加と同じ方法を使用します。ホットスポットを右クリックすると、色を変更したり、マップからホットスポットを削除できます。
- ホットゾーン（4）の追加：**ホットゾーンを追加する** ボタンをクリックすると、マップにマップが追加されます。7 層までマップが追加できます。ホットゾーンを右クリックすると、色を変更したり、マップからホットゾーンを削除できます。
- 画像の管理（5）：マップを追加または削除します。マップを削除すると、その中のホットスポットとホットゾーンもすべて削除されます。
- マップリソースの編集（6）：マップ名を編集して、ホットゾーンのアイコンの色を変更します。

マップの操作

設定を完了したら、**MAP** タブをクリックするとマップが使用できます。ホットスポットでライブビューを表示したり、アラームを処理できます。

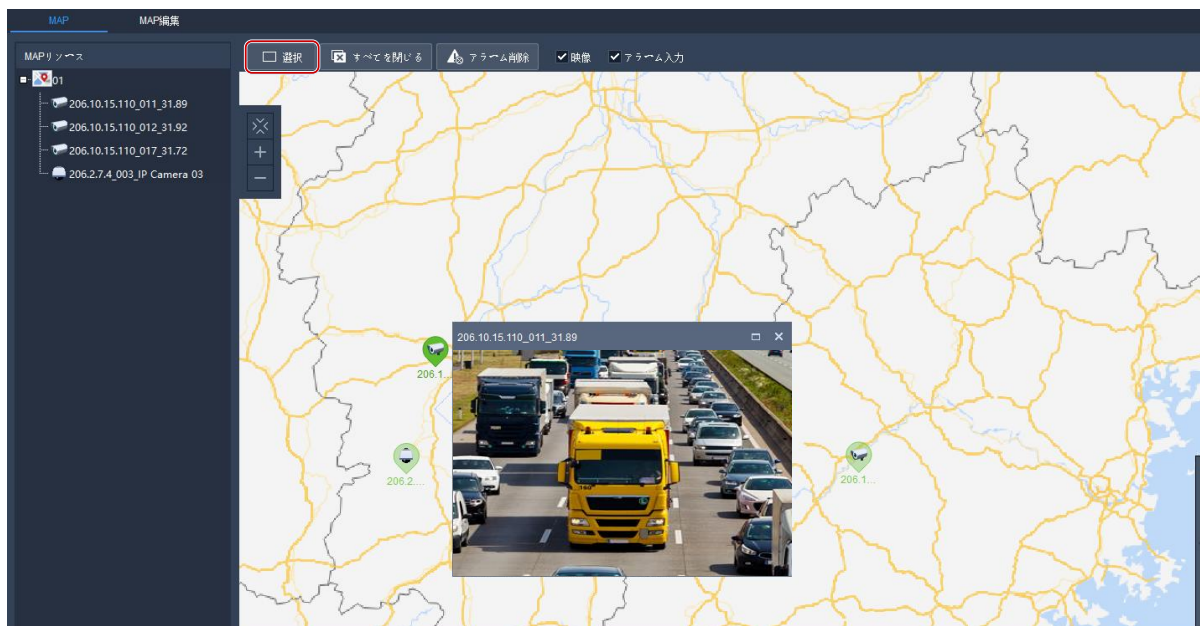
マップ上でホットスポットやホットゾーンを見つける

定位ボタンをクリックするとマップ上でホットスポットやホットゾーンを見つけることができます。

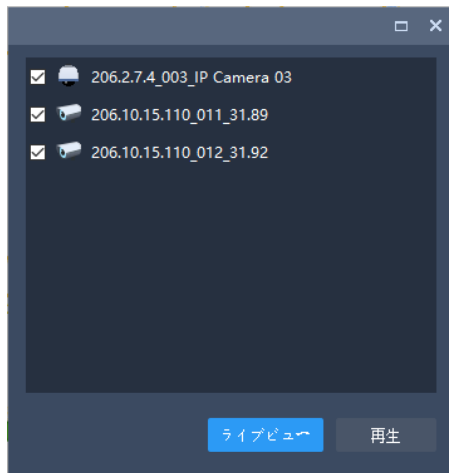


ホットスポットでライブビデオを表示する

マップ上でビデオチャンネルのホットスポットをダブルクリックすると、ホットスポットでライブビデオが表示されます。カメラは4台まで許可されます。必要に応じてウィンドウツールバーを使用します。

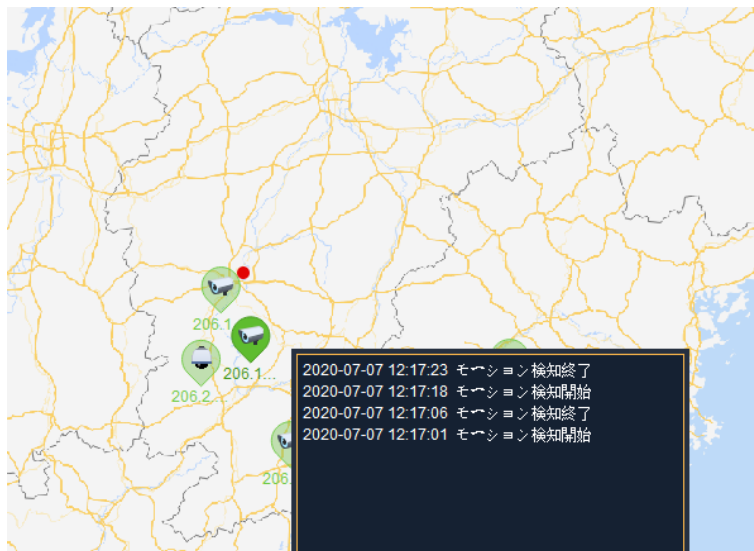


選択ボタンをクリックし、マップ上をドラッグしてホットスポットを選択します。選択したホットスポットで、ライブビデオや録画済みビデオを再生できます。



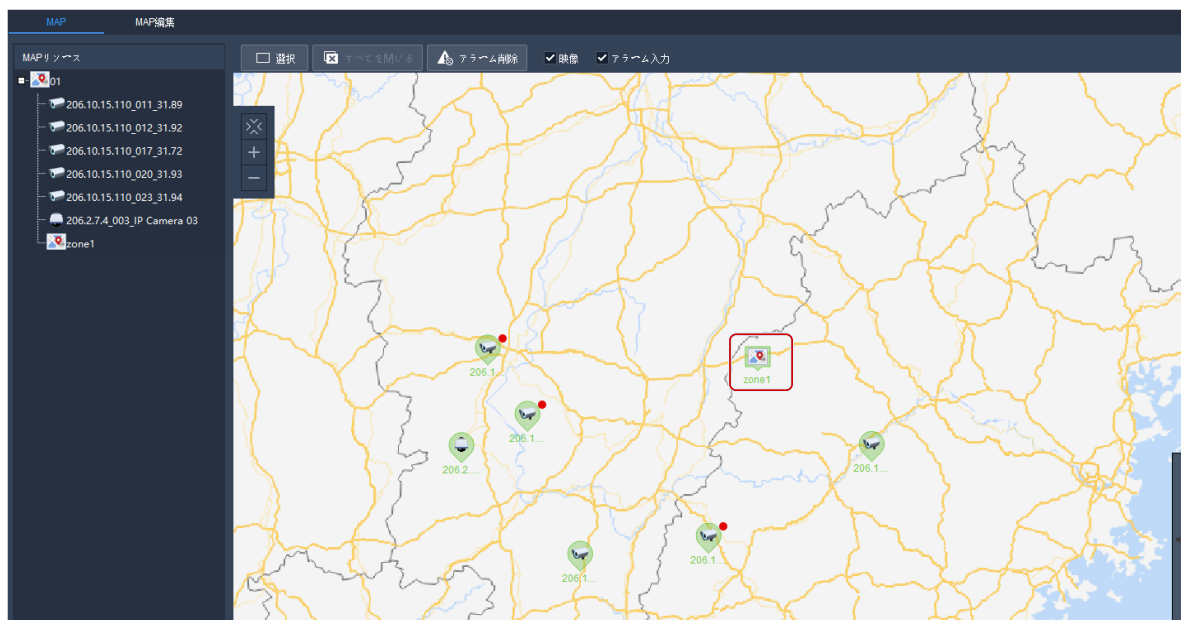
アラームの処理

アラームが発生すると、マップ上で、それに対応するホットスポットが点滅します。ホットゾーン内にホットスポットがある場合、そのホットゾーンが赤で点滅します。ホットスポットを右クリックするとライブビデオや録画済みビデオを再生したり、アラーム情報を表示したり、アラームをクリアできます。



ホットゾーンの表示

ホットゾーンを表示するには、左の **MAP** リソースリストでホットゾーンマップをクリックするか、マップのホットゾーンアイコンをダブルクリックします。




MAP リソースリストでメインマップをクリックすると、元に戻ります。

13 音声

音声サービスには、音声、双方向音声、ブロードキャストなどがあります。双方向音声は、音声またはブロードキャストと同時に動作しません。すなわち、双方向音声を起動すると音声またはブロードキャストが停止し、音声またはブロードキャストを起動すると双方向音声も停止します。

注意： Mac OS システムではブロードキャストは利用できません。

音声

ライブビデオの再生中にウィンドウツールバーで  をクリックすると、カメラの音声も起動します。この音声はカメラからパソコンへの一方向音声で、ライブビデオを閉じるとこの音声も停止します。

注意： 別のカメラで音声を起動すると、現在のカメラの音声も停止します。

双方向音声

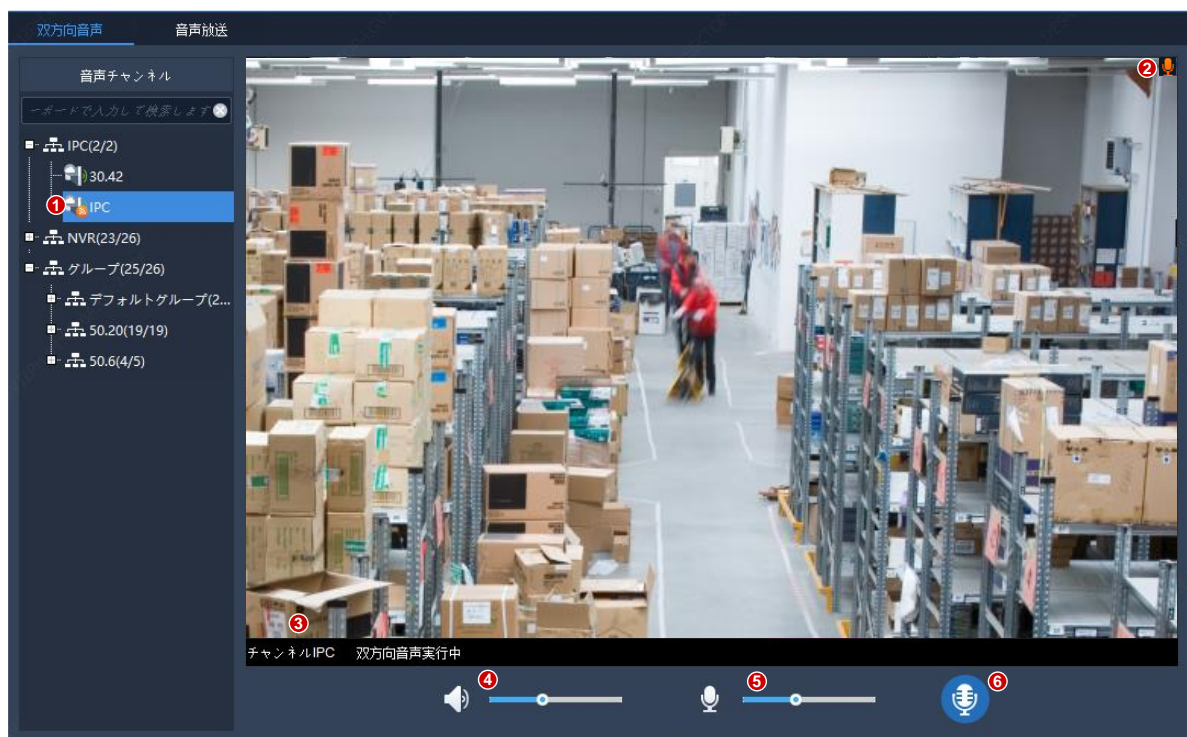
双方向音声はデバイス（カメラや NVR）とパソコンとの間の音声通信です。デバイスとパソコンの両方が、音声入出力デバイスに接続されている必要があります。

注意：双方向音声は一度に 1 台のデバイスのみで使用できます。


カメラとの双方向音声

カメラをダブルクリックするか、右のウィンドウにカメラをドラッグします。双方向音声起動すると、音声チャンネル記号が変化し（1）、ウィンドウの右上で双方向音声記号が点滅し（2）、双方向音声が使用中であることを示すヒントが表示されます（3）。

双方向音声の使用中に音量を調整したり（4）（5）、双方向音声を停止できます（6）。

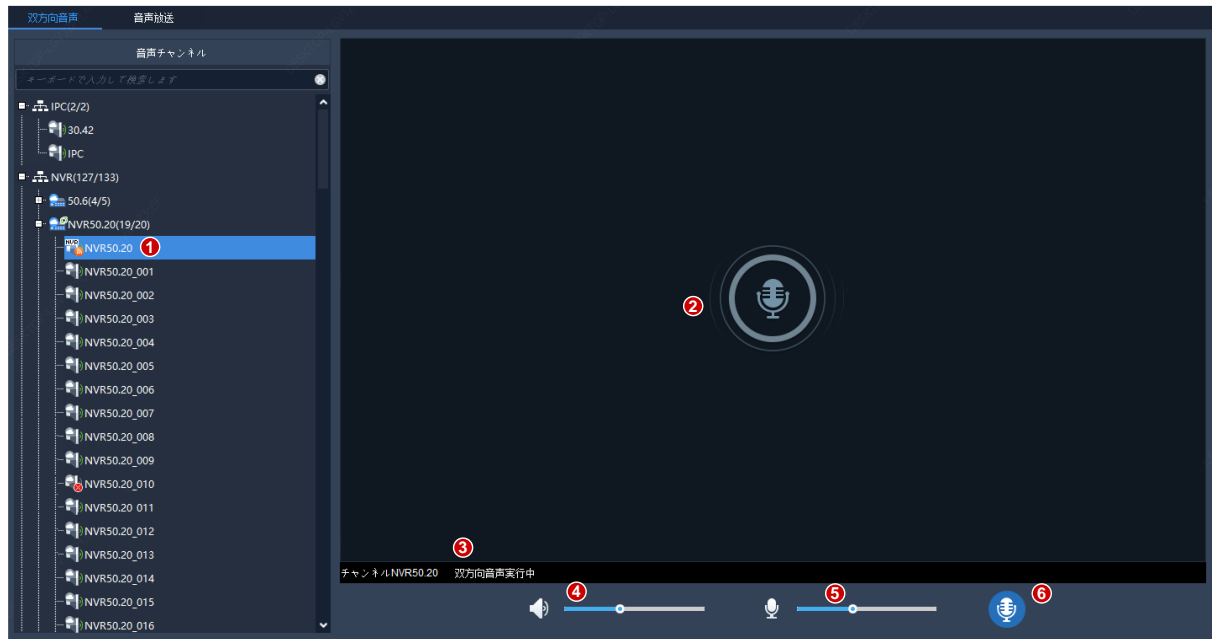


ヒント！

また、ライブビューウィンドウで  をクリックすると、カメラとの双方向音声を開始できます。

NVR との双方向音声

双方向音声タブで NVR をダブルクリックするか、右のウィンドウに NVR をドラッグします。双方向音声起動すると、音声チャンネル記号が変化し（1）、ウィンドウの中央に双方向音声記号が表示され（2）、双方向音声が使用中であることを示すヒントが表示されます（3）。双方向音声の使用中に音量を調整したり（4）（5）、双方向音声を停止できます（6）。




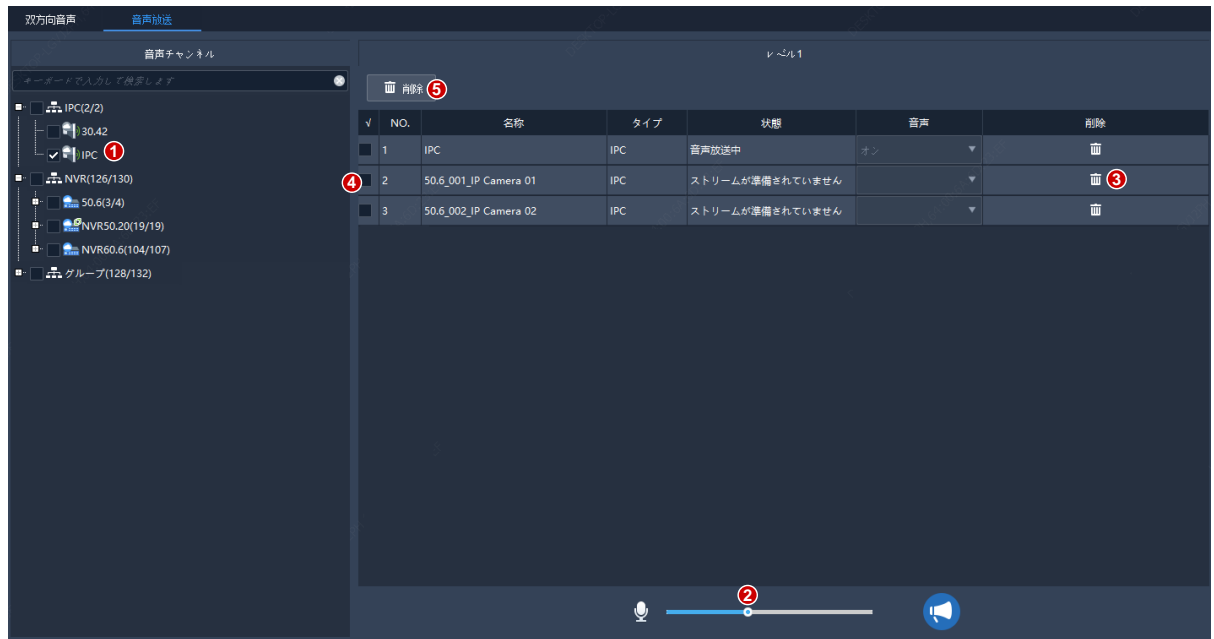
ブロードキャスト

ブロードキャストはパソコンからカメラへの一方向音声です。

音声放送タブをクリックします。左のリストで音声チャンネルを選択します。以下の操作が可能です。

- 音声チャンネルを1個ずつ選択します。
- NVR または組織を選択して、その下の音声チャンネルをすべて選択します。

選択した音声チャンネルは、右のブロードキャストリストに自動的に追加されます。チャンネルがすべて追加され、 をクリックをクリックする、ブロードキャストが起動します。



ブロードキャスト中に実行できること：

- 左のリスト (1) から選択してさらに音声チャンネルを追加する。これらのチャンネルでブロードキャストが自動的に開始されます。
- 音声の音量 (2) を調整します。もしくは をクリックするとマイクがオフになります。
- ブロードキャストリストから音声チャンネルを削除する。 (3) をクリックすると 1 チャンネルずつ削除され、チェックボックス (4) を選択して (5) をクリックすると一括削除されます。 をクリックすると、ブロードキャストリストの全チャンネルが選択されます。
- ブロードキャストを中止する： をクリックするか、**Audio** ページを閉じます。



ヒント！

現在、NVR ではブロードキャストは利用できません。

14 アラームの設定

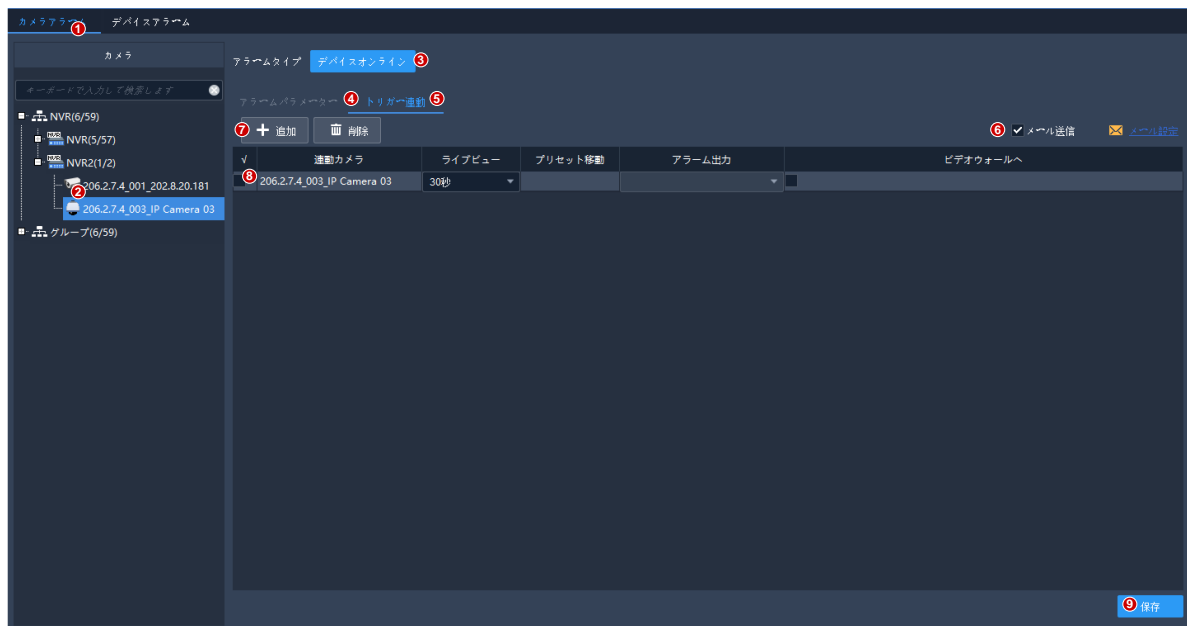
特定のソースで特定の形式のアラームが発生したときに起動するアクション（アラーム録画を表示する、アラームを処理する）を設定します。

アラーム起動型アクションの設定

アラームの設定には、アラームソース、アラームタイプ、リンク先デバイス、起動元アクションなどの設定があります。

コントロールパネルで**アラーム設定**をクリックし、手順に従います。

例：



1. 設定したいアラームタイプに対応するタブをクリックします。ここでは**カメラアラーム**を取り上げます。
 - カメラアラーム：カメラオンライン/オフライン、イベントアラーム、VCA アラーム。
 - デバイスアラーム：デバイスオンライン/オフライン、ディスクオンライン/オフライン。
2. アラームソースを選択します。アラームソースによって、設定したアクションが起動します。
3. アラームタイプを選択します。指定された形式のアラームによって、設定されたアクションが起動します。顔認識一致・不一致アラームを選択した場合、監視タスクが設定されていることを確認してください（[監視タスク](#) を参照のこと）。

4. アラームパラメータの設定


次のアラームタイプの場合、まず、**設定**をクリックして、デバイスの Web インターフェースにアクセスし、設定を完了する必要があります。(動体検知、改ざん検知、アラーム入力、音声検知、侵入検知、クロスライン検知、顔検知、デフォーカス検知、物体放置、物体除去、人体検知)

動体検知を例にとると、動体検知が有効になっていて、検知エリアが指定され、監視スケジュールが設定されていることを確認する必要があります。

5. トリガー連動タブをクリックします。
6. アラーム発生時にメールでアラートを受信するには、チェックボックスを選択し、メール設定を完了します ([クライアントの設定](#)を参照のこと)。
7. **追加**をクリックします。ダイアログボックスが現われます。リンクしたいデバイスを選択し、OK をクリックします。リンクされたデバイスがリストに表示されます。指定のアラームソース (ステップ 1) で指定のタイプのアラーム (ステップ 2) が発生すると、デバイスが起動して指定のアクションが実行されます。
8. 起動させたいアクションを設定します。
 - アラーム起動型ライブビュー: アラームによってポップアップウィンドウが起動し、カメラからのライブビューが再生されます。
 - アラーム起動型プリセット: アラームが発生すると、プリセットに従って PTZ カメラが回転します。予めリストでプリセットを設定しておく必要があります。
 - アラーム起動型出力: アラームが発生すると、カメラがアラームを出力し、それによってサードパーティデバイスによるアクションが起動します。
 - アラーム起動型ビデオウォール: アラームによってビデオウォールが起動し、カメラからのライブビューが再生されます。まずビデオウォールの設定を完了する必要があります。1 台のカメラのみを選択できます。
9. **保存**をクリックします。



ヒント!

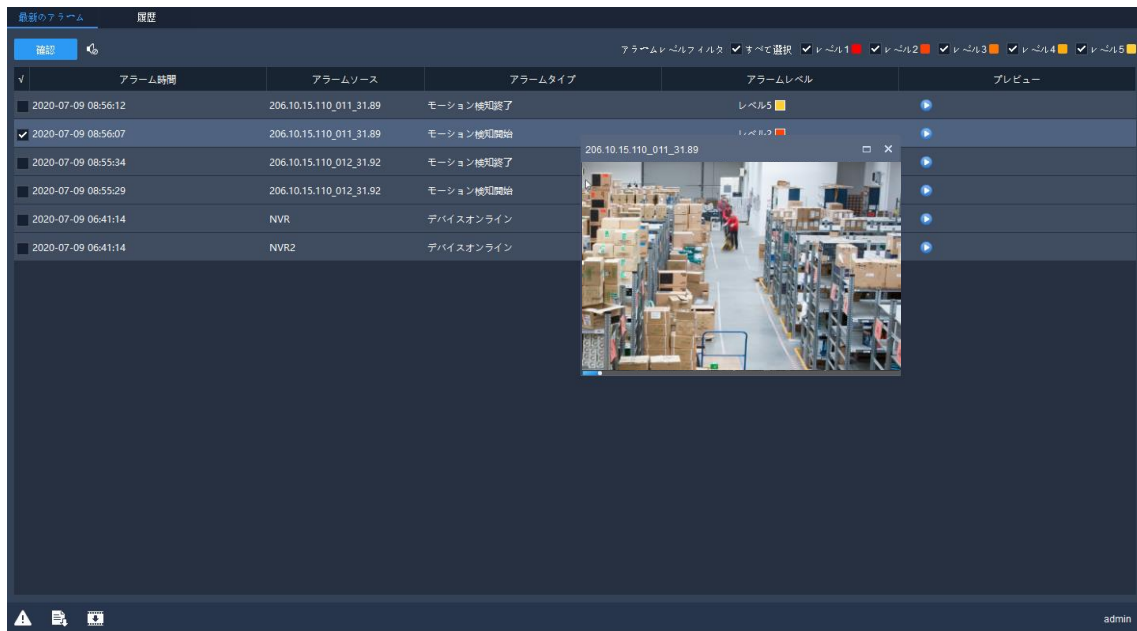
- アラーム起動型ライブビューを有効にするには、GUI 左下の  をクリックし、**連動ライブ画面表示**を選択します。
- 2 台以上のカメラからライブビデオを起動すると、パソコンの CPU 使用量が増えて他のサービスに影響が出る場合があります。

アラーム録画の表示





コントロールパネルで**アラーム記録**をクリックすると、アラーム録画を表示したり、アラームを確認したり、パソコンにアラームデータをエクスポートできます。

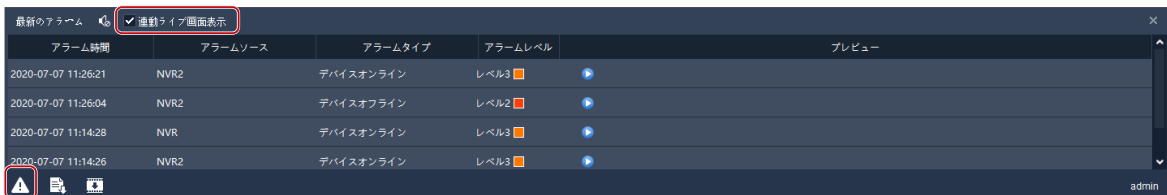
直近のアラーム

最新のアラームタブには、現在のログイン後に発生したアラームが列記され、自動的に更新されます。

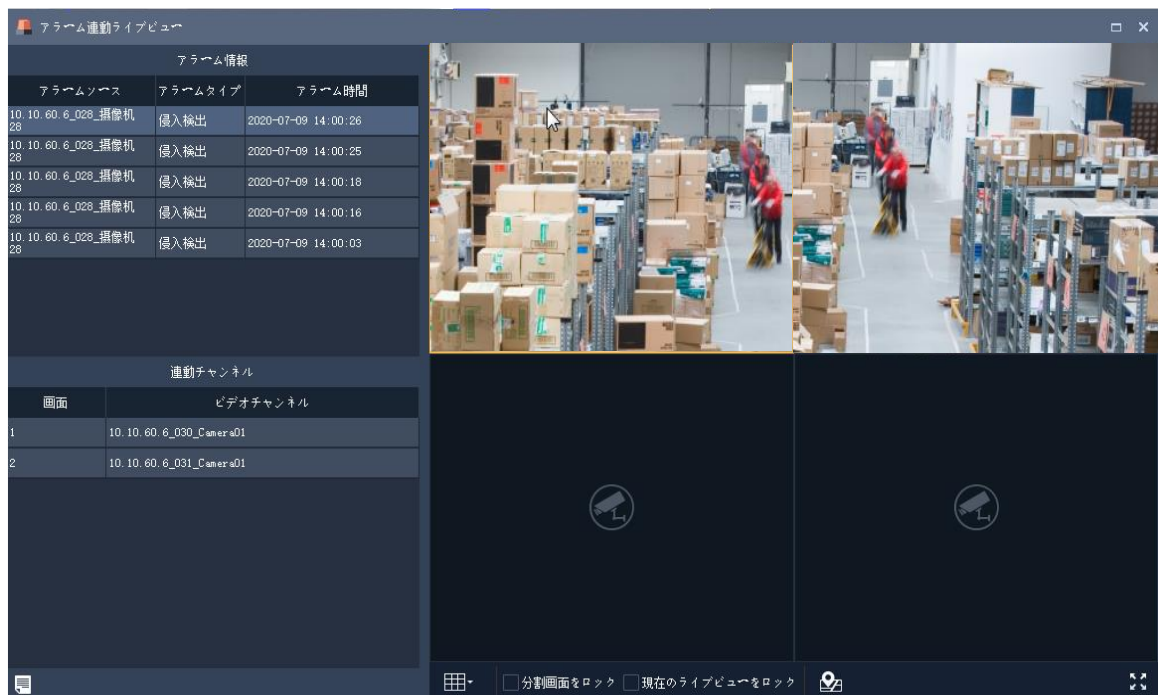


以下の操作が可能です。

1. ヘッダー（アラーム時間など）をクリックすると、録画を昇順/降順で並べ替えることができます。
2. アラームの確認：アラームを選択（ダブルクリック）し、確認をクリックします。確認済みのアラームは履歴タブに移動します。
3.  をクリックするたびにアラームの音がオン/オフします。
4.  をクリックするとアラームビデオが再生されます。アラームビデオの長さは、クライアント設定（動作 > アラーム > アラーム発生後とアラーム発生前）で設定できます。
5.  をクリックすると、表示されているアラームがすべて選択または選択解除されます。
6. GUI の左下にある最新のアラームボタン（）をクリックします。表示されたページで、アラーム音のオン/オフや、アラーム起動型ライブビデオを有効/無効にする連動ライブ画面表示の選択/選択解除ができ、録画をダブルクリックすると最新のアラームタブ全体が表示されます。



- アラームが発生すると、アラーム起動型ライブビデオを再生するアラーム連動ライブビューウィンドウがポップアップ表示されます。



ヒント：

- ウィンドウツールバーが利用できます（[ライブビューウィンドウツールバー](#) を参照のこと）。
- 画面のロック：これを選択した場合、現在のウィンドウレイアウト（4 ウィンドウレイアウトなど）がロックされ、新たにアラーム起動型ライブビデオが生成されても、このレイアウトは変更されません。
- 現在のライブビューのロック：これを選択した場合、現在のライブビデオは、新しいアラーム起動型ライブビデオと入れ替わりません。
- 設定した再生時間が終わると、ライブビデオは停止します（[アラーム起動型アクションの設定](#) を参照のこと）。アラーム録画の左上部分をダブルクリックすると、もう一度ビデオを再生できます。
- 左下のボタンをクリックすると、アラーム録画ページが開きます。

アラームレベルと、それに対応するアラームタイプ：

アラームレベル	アラームタイプ
レベル1	手動アラーム
レベル2	デバイスオフライン、動体検知起動、アラーム入力起動、クロスライン検知、侵入検知、顔検知、音声検知起動、デフォーカス検知起動、シーン変化検知、自動追跡、改ざん検知開始、ディスク異常、ディスク異常、アレイ損傷、アレイ劣化、顔認識一致アラーム、顔認識不一致アラーム、物体放置、物体除去、人体検知
レベル3	デバイスオンライン、ディスクオンライン。
レベル4	保留。
レベル5	動体検知終了、アラーム入力終了、自動追跡アラームクリア、音声検知終了、改ざん検知終了、アレイ正常復帰。

履歴アラーム


History タブで、直近のアラームや履歴アラームを含むすべてアラームが復帰できます。

✓	アラーム時間	アラームソース	アラームタイプ	アラームレベル	アラーム状態	ユーザー確認	時間確認	備考
■	2020-07-07 11:26:21	NVR2	デバイスオンライン	レベル3	未確認			
■	2020-07-07 11:26:04	NVR2	デバイスオフライン	レベル2	未確認			
■	2020-07-07 11:14:28	NVR	デバイスオンライン	レベル3	未確認			
■	2020-07-07 11:14:26	NVR2	デバイスオンライン	レベル3	未確認			
■	2020-07-07 10:51:51	206.10.15.110_012_31.92	モーション検知終了	レベル5	未確認			
■	2020-07-07 10:51:46	206.10.15.110_012_31.92	モーション検知開始	レベル2	未確認			
■	2020-07-07 10:24:14	206.10.15.110_012_31.92	モーション検知終了	レベル5	未確認			
■	2020-07-07 10:24:09	206.10.15.110_012_31.92	モーション検知開始	レベル2	未確認			
■	2020-07-07 10:21:52	206.10.15.110_012_31.92	モーション検知終了	レベル5	未確認			
■	2020-07-07 10:21:47	206.10.15.110_012_31.92	モーション検知開始	レベル2	未確認			
■	2020-07-07 09:21:03	206.10.15.110_011_31.89	モーション検知終了	レベル5	未確認			
■	2020-07-07 09:20:48	206.10.15.110_011_31.89	モーション検知開始	レベル2	未確認			
■	2020-07-07 09:20:43	206.10.15.110_011_31.89	モーション検知開始	レベル2	未確認			
■	2020-07-07 09:20:43	206.10.15.110_012_31.92	モーション検知開始	レベル2	未確認			
■	2020-07-07 08:20:43	NVR	デバイスオンライン	レベル3	未確認			
■	2020-07-07 08:20:41	NVR2	デバイスオンライン	レベル3	未確認			
■	2020-07-07 07:42:02	NVR2	デバイスオンライン	レベル3	未確認			

以下の操作が可能です。

- 検索条件を設定します。リセットをクリックすると、検索条件がリセットされます。
- ヘッダー（アラーム時間など）をクリックすると、録画を昇順/降順で並べ替えることができます。
- 1 ページに表示される録画数を選択します。
- 録画をダブルクリックすると詳細が表示されます。アラーム時間は、アラームが発生したときのパソコンのシステム時間で、デバイス時間は、アラームが発生したときのデバイスのシステム時刻です。これらの時間は一致しないことがあります。パソコンとデバイスが異なる時間帯に属している場合にも、時間が一致しないことがあります。

アラームタイプ	モーション検知終了
デバイス名称	206.10.15.110_012_31.92
アラーム時間	2020-07-07 10:51:51
デバイス時間	2020-07-07 10:51:51
アラーム状態	未確認
ユーザー確認	
時間確認	

- アラームを選択して、確認をクリックし、アラームを確認します。
-  をクリックして、現在のページに表示される録画を選択/選択解除します。

- **エクスポート**をクリックすると、パソコンに CSV ファイルとして検索結果がエクスポートされます。Microsoft Excel でファイルを開くことができます。

15 操作ログ

コントロールパネルで**動作履歴**をクリックすると、ログを検索して、パソコンに検索結果をエクスポートできます。ログ情報には、ユーザー名、操作の詳細、結果が含まれます。

ログ時間	ユーザー名	ログ説明
2020-07-07 11:16:00	admin	ユーザー admin デバイス追加(IPC231S-IR3-PF36-DT_206.10.252.188)(206.10.252.188)。操作結果：成功
2020-07-07 11:15:51	admin	ユーザー admin デバイス追加(IPC231S-IR3-PF36-DT_206.10.252.188)(206.10.252.188)。操作結果：成功
2020-07-07 11:15:43	admin	ユーザー admin デバイス削除(IPC232S-IR5-PF80-DT_206.10.252.184)(206.10.252.184)。操作結果：成功
2020-07-07 11:15:43	admin	ユーザー admin デバイス削除(IPC868ER-VF18-B_206.10.3.240)(206.10.3.240)。操作結果：成功
2020-07-07 11:15:43	admin	ユーザー admin デバイス削除(IPC-S645-IR_206.10.1.51)(206.10.1.51)。操作結果：成功
2020-07-07 11:15:43	admin	ユーザー admin デバイス削除(HIC6622HX22-5CWH-UST_206.10.3.243)(206.10.3.243)。操作結果：成功
2020-07-07 11:15:43	admin	ユーザー admin デバイス削除(HIC9521-IR_206.10.252.4)(206.10.252.4)。操作結果：成功
2020-07-07 11:15:23	admin	ユーザー admin デバイス追加(HIC9521-IR_206.10.252.4)(206.10.252.4)。操作結果：成功
2020-07-07 11:15:20	admin	ユーザー admin デバイス追加(HIC6622HX22-5CWH-UST_206.10.3.243)(206.10.3.243)。操作結果：成功
2020-07-07 11:15:17	admin	ユーザー admin デバイス追加(IPC-S645-IR_206.10.1.51)(206.10.1.51)。操作結果：成功
2020-07-07 11:15:14	admin	ユーザー admin デバイス追加(IPC868ER-VF18-B_206.10.3.240)(206.10.3.240)。操作結果：成功
2020-07-07 11:15:10	admin	ユーザー admin デバイス追加(IPC232S-IR5-PF80-DT_206.10.252.184)(206.10.252.184)。操作結果：成功
2020-07-07 11:15:03	admin	ユーザー admin デバイス追加(HIC9521-IR_206.10.252.4)(206.10.252.4)。操作結果：成功
2020-07-07 11:14:57	admin	ユーザー admin デバイス追加(HIC6622HX22-5CWH-UST_206.10.3.243)(206.10.3.243)。操作結果：成功
2020-07-07 11:14:50	admin	ユーザー admin デバイス追加(IPC-S645-IR_206.10.1.51)(206.10.1.51)。操作結果：成功
2020-07-07 11:14:44	admin	ユーザー admin デバイス追加(IPC868ER-VF18-B_206.10.3.240)(206.10.3.240)。操作結果：成功

以下の操作が可能です。

- 検索条件を設定します。リセットをクリックすると、検索条件がリセットされます。
- ヘッダー（ログ時間など）をクリックすると、録画を昇順/降順で並べ替えることができます。
- 1 ページに表示される録画数を選択します。
- 録画をダブルクリックすると詳細が表示されます。
- エクスポートをクリックすると、パソコンに CSV ファイルとして検索結果がエクスポートされます。

16 クライアントの設定

コントロールパネルで**クライアント構成**をクリックすると、次のパラメータが設定できます。

パラメータ			説明
音声とビデオ	ビデオ	処理モード	<ul style="list-style-type: none"> ● 短時間の遅延: ビデオの遅延が最小限になりますが、ビデオの画質は劣化することがあります。 ● スムーズ: ビデオのスムーズングが優先されますが、ビデオの動きが遅れることがあります。
		ディスプレイモード	お使いのパソコンの表示能力に合わせて設定します。
		ストリーム送信プロトコル	カメラがディスプレイウィンドウにビデオデータを送信する送信プロトコル。設定を変更した場合、次回ソフトウェアを起動したときに新しい設定が有効になります。 注意: <ul style="list-style-type: none"> ● TCP はネットワーク状態が不良な場合に推奨されます。 ● UDP の場合、ソフトウェアがファイアウォールでブロックされないことを確認してください。
		ショートカット PTZ コントロールの有効化	有効にするとショートカットPTZコントロールが利用できます。
		VCA ルールの有効化	これを有効にすると、この機能をサポートするカメラのライブビデオに VCA ルールが表示されます。
		GPU モードの有効化	これを有効にすると、ソフトウェアは、さらに多くのカメラでストリーミングを起動できます。 このオプションを有効にすると、サポートされるエンコーディングフォーマット (H. 264 や H. 265 など) が表示されます。
	スナップショット	スナップショットモード	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動: 指定のパスを通じて、指定のフォーマットでスナップショットが保存されます。 ● マニュアル: このモードでは、保存したいスナップショットを選択し、パスとフォーマットを設定し、備考を記入する (JPEG の場合のみ) ことができます。
		連続スナップショットの間隔	2 枚のスナップショットの撮影間隔です。
		連続スナップショット	1 回に撮影されるスナップショットの枚数。

パラメータ			説明
		スナップショットフォーマット	<p>撮影されたスナップショットがクライアントコンピュータに保存される際のフォーマットを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● BMP：スナップショットを圧縮せずに保存します。JPEG よりも多くのスペースを占有します。 ● JPEG：スナップショットを圧縮して画質を落とし、スペースを節約します。
	録画	ローカル録画/ダウンロードされた録画フォーマット	ローカル録画/ダウンロードされた録画のフォーマット：TS および MP4。
システム	スタートアップ	ガードステーション 3.0への自動ログインを有効化	<p>有効の場合ソフトウェアを起動するとガードステーション 3.0 に自動でログインします。</p> <p>これと同時に自動的にログインしますを有効にすると、コンピュータが Windows オペレーティングシステムにアクセスした後に、ソフトウェアが自動的に起動します。</p>
		Windowsへの自動ログインの有効化	これを有効にすると、起動時に、入力したユーザー名とパスワードを使用して、自動的に Windows にログインされます。
	ログ	操作ログ保存期間	操作ログを保存する期間。
		アラームログ保存期間	アラームログを保存する期間。
	メンテナンス	設定のインポート	設定ファイルから設定をインポートします。
		設定のエクスポート	設定をエクスポートしファイルとして保存します。
操作	アラーム	アラーム音の有効化	これを有効にすると、アラームの鳴動時間をカスタマイズしたり、アラームタイプに応じて異なる音を設定できます。
		アラーム前後の再生時間	アラーム発生時の前と後におけるビデオの再生時間。この設定を使用して、 アラーム記録 ページで再生されるアラームビデオの長さをカスタマイズできます。
	サービス	自動時間同期の有効化	これを有効にすると、ソフトウェアによって、同期間隔ごとに、パソコンのシステム時間とカメラの時間が同期されます。

パラメータ		説明													
Eメール		アラーム起動型メール（ アラーム起動型アクションの設定 を参照のこと）で必要となります。アラームが発生すると、指定のメールアドレスにメールが送信されます。 <ul style="list-style-type: none">送信者：メールの送信に使用されるメールアドレス。受信者：メールの受信に使用されるメールアドレス。 ヒント：受信者としてメール送信者のメールアドレスを使用し、 送信します をクリックしてテストを行ないます。													
	アクセス	<table><tr><td>温度単位</td><td>摂氏または華氏を選びます。</td></tr><tr><td>マスク検知</td><td>マスク検知を有効化/無効化します。この機能はデバイスサポートおよび構成が必要です。</td></tr><tr><td>温度検知</td><td>温度検知を有効化/無効化します。この機能はデバイスサポートおよび構成が必要です。</td></tr><tr><td>異常温度しきい値</td><td>システムはしきい値より高い温度になった場合アラームを報告します。</td></tr><tr><td>アラーム音</td><td>有効の場合、異常温度やマスクを着用しない人が検知されたときに、アラーム音が鳴ります。まず温度検知とマスク検知を有効化してください。</td></tr><tr><td>ポップアップアラームウィンドウ</td><td>有効の場合、異常温度やマスクを着用しない人が検知されたときに、アラームウィンドウがポップアップ表示されます。まず温度検知とマスク検知を有効化してください。</td></tr><tr><td>電子メールを送信</td><td>有効の場合、異常温度やマスクを着用しない人が検知された場合、設定したアドレスへ、アラーム電子メールが送信されます。まず温度検知とマスク検知を有効化してください。</td></tr></table>	温度単位	摂氏または華氏を選びます。	マスク検知	マスク検知を有効化/無効化します。この機能はデバイスサポートおよび構成が必要です。	温度検知	温度検知を有効化/無効化します。この機能はデバイスサポートおよび構成が必要です。	異常温度しきい値	システムはしきい値より高い温度になった場合アラームを報告します。	アラーム音	有効の場合、異常温度やマスクを着用しない人が検知されたときに、アラーム音が鳴ります。まず温度検知とマスク検知を有効化してください。	ポップアップアラームウィンドウ	有効の場合、異常温度やマスクを着用しない人が検知されたときに、アラームウィンドウがポップアップ表示されます。まず温度検知とマスク検知を有効化してください。	電子メールを送信
温度単位	摂氏または華氏を選びます。														
マスク検知	マスク検知を有効化/無効化します。この機能はデバイスサポートおよび構成が必要です。														
温度検知	温度検知を有効化/無効化します。この機能はデバイスサポートおよび構成が必要です。														
異常温度しきい値	システムはしきい値より高い温度になった場合アラームを報告します。														
アラーム音	有効の場合、異常温度やマスクを着用しない人が検知されたときに、アラーム音が鳴ります。まず温度検知とマスク検知を有効化してください。														
ポップアップアラームウィンドウ	有効の場合、異常温度やマスクを着用しない人が検知されたときに、アラームウィンドウがポップアップ表示されます。まず温度検知とマスク検知を有効化してください。														
電子メールを送信	有効の場合、異常温度やマスクを着用しない人が検知された場合、設定したアドレスへ、アラーム電子メールが送信されます。まず温度検知とマスク検知を有効化してください。														

17 ユーザ管理

コントロールパネルで**ユーザー管理**をクリックすると、ユーザーを追加、編集または削除できます。

デフォルトのユーザー名（**admin**）/パスワードを使用してログインします。「admin」はスーパー管理者なので編集や削除はできません。

1. ユーザー追加するには**追加**をクリックします。
 - 管理者：Admin のみが管理者を追加できます。デフォルトでは、管理者は全権限を有しています。
 - 操作者：Admin またはユーザ管理権限を有する管理者は、操作者を追加できます。デフォルトでは、操作者には何の権限もありません。
2. 権限を割り当てるには、左で権限を指定してください。一部の権限（ライブビューなど）では、右でデバイスを選択する必要があります。
3. ユーザー名（ユーザー名、パスワード、権限）を編集するには、リストでユーザーをダブルクリックします。ユーザーを削除するには、ユーザーを選択して**削除**をクリックします。



ヒント！

権限のないメニューは薄いグレーで表示されるか、非表示になります。必要に応じてAdmin にご連絡ください。

18 付録

MyDDNS でエンコーディングデバイスの追加

1. お使いのルーターで UPnP を有効にします。ルーターのユーザーガイドを参照してください。
2. デバイスの Web インターフェイスにログインし、ポートマッピングを有効にします
(ネットワーク > ポートマッピング)
 - マッピングモード：UPnP が推奨されます
 - マッピングタイプ：自動 が推奨されます。デバイスとルーターが外部ポートを決定します。
 - 手動 を選択した場合、設定したポートが有効であることを確認してください。さもないと、ポートマッピングが有効になりません。
 - 外部 IP アドレスが表示されない場合：a. ルーターで UPnP が有効であることを確認してください。b. 一部のルーターでは、ポートマッピング用のデバイス数が制限されています。最大数に達すると、不要なポートマッピングが取り消されます。
3. 次のように、デバイスの Web インターフェイスで、DDNS を設定します
(ネットワーク > DDNS) :
 - DDNS のタイプ：MyDDNS
 - サーバー・アドレス：www.star4live.com
 - ポート：80
 - ドメイン名：覚えやすい名前を選択し（例：myNVR123）、使用可能かどうかテストしてください。
 - 設定が成功すると、デバイスがオンラインになり、サーバーアドレスが表示されます（例：www.star4live.com/myNVR123）。
4. ソフトウェアにエンコーディングデバイスを追加します。
 - 追加モード：MyDDNS
 - デバイス名：必要に応じて設定
 - ドメイン：ステップ 3 で取得したドメイン名（この場合、myNVR123）
 - デバイスのユーザー名とパスワードを入力します
5. 追加をクリックします。

予備モニターの回復

お使いのパソコンが予備モニターに接続されている場合、予備モニターにタブをドラッグすると、それにタブ（ライブビューなど）を表示できます。ソフトウェアが再起動しても、予備モニターにタブが表示されたままになります。

マルチウィンドウディスプレイ

タブをドラッグして新しいウィンドウを開きます。

例：

